

第 69 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【全体会】

日時：2026 年 7 月 15 日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③ 10:00～12:30（予定）

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【全体会】

(1)開会

(2)要綱の改定 【資料 1】

(3)「信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存」に係る検討・協議結果について 【資料 2】

(4)「5・6 街区の高輪築堤跡の文化財的価値及び保護措置について（6）」に対する
当社の見解について 【資料 3】

(5)6 街区南部の調査状況等について 【資料 4】

(6)その他

(7)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

高輪築堤調査・保存等検討委員会 設置要綱

2020年9月18日制定

2021年7月16日改定

2022年1月17日改定

2022年11月9日改定

2023年5月10日改定

2023年8月2日改定

2023年10月4日改定

2024年11月6日改定

2025年4月9日改定

2026年4月8日改定

2026年7月15日改定（案）

（名称）

第1条 本委員会の名称は、「高輪築堤調査・保存等検討委員会」（以下「委員会」という。）とする。

（目的）

第2条 委員会は、品川駅北周辺地区土地地区画整理事業区域、品川駅街区地区土地地区画整理事業区域等及び田町駅周辺において発見された高輪築堤その他文化財に関し、文化財及び鉄道構造物の観点から、調査方法及び保存方法等について検討し、必要な助言を行うことを目的とする。なお、本委員会で扱う調査とは、検出調査及び本調査を示すものとし、保存とは、現地保存・移築保存・記録保存を示すものとする。また、「『国際交流拠点・品川』における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議」と連携を図るものとする。

（総則）

第3条 前条の目的を果たすために、委員会は高輪築堤その他文化財を包括する事項については、全体会にて検討し、必要な助言を行う。

2. 委員会は、区域毎に部会を置く。各々の名称は以下の通りとする。

- ・「高輪築堤調査・保存等検討委員会（北周辺部会）」（以下「部会①」という。）
- ・「高輪築堤調査・保存等検討委員会（駅街区部会）」（以下「部会②」という。）
- ・「高輪築堤調査・保存等検討委員会（東海道線接続区間部会）」（以下「部会③」という。）

＜部会①設置要綱＞

（所掌事項）

第4条 部会①は、高輪築堤等に関し、以下の事項について検討し、必要な助言を行うものとする。

- （1）調査の方法について
- （2）調査の結果を踏まえた保存方法等について

（組織）

第5条 部会①の委員は、考古学、鉄道史、近代史、土質力学等の専門家（学識経験者等、別表1）で構成する。

2. オブザーバー（別表1）は部会①に参加し、意見を述べることができる。
3. 委員長は、委員の中から互選、あるいは互選がない場合は、事務局が推薦するものとし、いずれも委員の承認を受けることとする。
4. 副委員長は、必要に応じて委員長が任命するものとする。
5. 部会①には、必要に応じて作業部会を置くことができる。
6. 作業部会は、部会①の構成員（委員及びオブザーバー）のほか、専門的見地から委員以外のもの（以下「関係者」という。）の出席を求めることができる。また、調査方法及び保存方法等について、部会①の意向を踏まえた詳細な検討を行い、必要に応じて検討結果を部会①に報告することができる組織とする。
7. 部会①の構成員（委員及びオブザーバー）として適任者がいる場合は、部会①において委員の承認を受けて、構成員に追加することができる。

（会議）

第6条 部会①は委員長が招集し、委員長が議長として会議を総括する。

2. 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

（任期）

第7条 委員の任期は2年間とする。ただし、2年を超えて部会①が継続する場合は、再任を妨げない。

2. 委員が何らかの事由により欠けた場合は、部会①の意向を確認したうえで事務局が委員を選定することができる。

（事務局）

第8条 部会①の事務局は東日本旅客鉄道株式会社 本社 **TOD企画部**に置くものとする。

（守秘義務）

第9条 構成員及び関係者は、この部会①で知り得た情報を事務局の許可なく第三者に漏えいしてはならない。

（その他）

第10条 この要綱に定めるもののほか、部会①に関し必要な事項は、部会①において定めるものとする。

＜部会②設置要綱＞

（所掌事項）

第11条 部会②は、高輪築堤等に関し、以下の事項について検討し、必要な助言を行うものとする。

- （1）調査の方法について
- （2）調査の結果を踏まえた保存方法等について

（組織）

第12条 部会②の委員は、考古学、鉄道史、近代史、土質力学等の専門家（学識経験者等、別表1）で構成する。

2. オブザーバー（別表1）は部会②に参加し、意見を述べることができる。
3. 委員長は、委員の中から互選、あるいは互選がない場合は、事務局が推薦するものとし、いずれも委員の承認を受けることとする。
4. 副委員長は、必要に応じて委員長が任命するものとする。
5. 部会②には、必要に応じて作業部会を置くことができる。
6. 作業部会は、部会②の構成員（委員及びオブザーバー）のほか、専門的見地から委員以外のもの（以下「関係者」という。）の出席を求めることができる。また、調査方法及び保存方法等について、部会②の意向を踏まえた詳細な検討を行い、必要に応じて検討結果を部会②に報告することができる組織とする。
7. 部会②の構成員（委員及びオブザーバー）として適任者がいる場合は、部会②において委員の承認を受けて、構成員に追加することができる。

（会議）

第13条 部会②は委員長が招集し、委員長が議長として会議を総括する。

2. 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

（任期）

第14条 委員の任期は2年間とする。ただし、2年を超えて部会②が継続する場合は、再任を妨げない。

2. 委員が何らかの事由により欠けた場合は、部会②の意向を確認したうえで事務局が委員を選定することができる。

（事務局）

第15条 部会②の事務局は京浜急行電鉄株式会社に置くものとする。

（守秘義務）

第16条 構成員及び関係者は、この部会②で知り得た情報を事務局の許可なく第三者に漏えいしてはならない。

（その他）

第17条 この要綱に定めるもののほか、部会②に関し必要な事項は、部会②において定めるものとする。

＜部会③設置要綱＞

（所掌事項）

第18条 部会③は、高輪築堤等に関し、以下の事項について検討し、必要な助言を行うものとする。

- （１）調査の方法について
- （２）調査の結果を踏まえた保存方法等について

（組織）

第19条 部会③の委員は、考古学、鉄道史、近代史、土質力学等の専門家（学識経験者等、別表1）で構成する。

2. オブザーバー（別表1）は部会③に参加し、意見を述べることができる。
3. 委員長は、委員の中から互選、あるいは互選がない場合は、事務局が推薦するものとし、いずれも委員の承認を受けることとする。
4. 副委員長は、必要に応じて委員長が任命するものとする。
5. 部会③には、必要に応じて作業部会を置くことができる。
6. 作業部会は、部会③の構成員（委員及びオブザーバー）のほか、専門的見地から委員以外のもの（以下「関係者」という。）の出席を求めることができる。また、調査方法及び保存方法等について、部会③の意向を踏まえた詳細な検討を行い、必要に応じて検討結果を部会③に報告することができる組織とする。
7. 部会③の構成員（委員及びオブザーバー）として適任者がいる場合は、部会③において委員の承認を受けて、構成員に追加することができる。

（会議）

第20条 部会③は委員長が招集し、委員長が議長として会議を総括する。

2. 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

（任期）

第21条 委員の任期は2年間とする。ただし、2年を超えて部会③が継続する場合は、再任を妨げない。

2. 委員が何らかの事由により欠けた場合は、部会③の意向を確認したうえで事務局が委員を選定することができる。

（事務局）

第22条 部会③の事務局は東日本旅客鉄道株式会社 本社 **建設エンジニアリング部**に置くものとする。

（守秘義務）

第23条 構成員及び関係者は、この部会③で知り得た情報を事務局の許可なく第三者に漏えいしてはならない。

（その他）

第24条 この要綱に定めるもののほか、部会③に関し必要な事項は、部会③において定めるものとする。

(別表 1) 検討体制名簿

			部会 ①	部会 ②	部会 ③
委員長	谷川 章雄	早稲田大学 人間科学学術院 名誉教授	○	○	○
委員	老川 慶喜	立教大学名誉教授	○	○	○
委員	小野田 滋	鉄道総合技術研究所 アドバイザー	○	○	○
委員	古関 潤一	東京大学名誉教授 ライト工業 R&Dセンター テクニカルオフィサー	○	○	○
オブザーバー	文化庁 文化資源政策・記念物課 史跡部門		○	○	○
オブザーバー	文化庁 文化資源政策・記念物課 埋蔵文化財部門		○	○	○
オブザーバー	港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課		○	○	○
オブザーバー	港区 街づくり支援部 街づくり推進担当		○	○	○
オブザーバー	港区 街づくり支援部 土木課				○
オブザーバー	東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課		○	○	○
オブザーバー	鉄道博物館 学芸部		○	○	○
オブザーバー	J R 東日本コンサルタンツ株式会社		○	○	○
オブザーバー	東京都 建設局 道路建設部 道路橋梁課		○		
オブザーバー	東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課		○	○	
オブザーバー	東京都 交通局 建設工務部 計画改良課		○		
オブザーバー	独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部		○	○	
オブザーバー	東日本旅客鉄道株式会社 テクノロジー&イノベーション推進本部 構造技術センター		○	○	○
オブザーバー	東日本旅客鉄道株式会社 TOD企画部		○	○	○
オブザーバー	東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング戦略部		○		
オブザーバー	東日本旅客鉄道株式会社 建設エンジニアリング部				○
オブザーバー	京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 品川開発推進部			○	
オブザーバー	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部		○	○	

注) 全体会は、全ての部会のメンバーが参加するものとする。

「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る 協議体における検討・協議結果について

1. 検討に至る経緯について

(1)2026年2月4日開催 第64回高輪築堤調査・保存等検討委員会における委員見解

委員見解（5）

5・6街区の信号機跡及び築堤部 100m 以上の区間の現地保存を要望してきた。JR 見解において、5・6街区での築堤部 100m 以上の区間の現地保存が難しいとされたことは理解できる。一方、5・6 街区間の現地保存については、現時点でその成立性の検証にあたっては、詳細な検討や協議等が必要であり、時間と費用を要するとのことであった。

しかしながら、5・6 街区間の現地保存の問題は、すでに 2025 年 4 月の本委員会において古関委員が検討を要望したことである。また、5・6 街区間南端では信号機跡が確認されている。したがって、再度本委員会として、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の検討を要望する。本委員会としては、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の方策を見通した上で、5・6 街区の保護措置に関する結論を得ることとしたい。

(2)2026年3月11日開催 第65回高輪築堤調査・保存等検討委員会における当社見解

「5・6街区での築堤部 100m 以上の区間」における現地保存が困難である点をご理解いただけたものと受け止めさせていただきます。

「信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の検討」につきましては、当社の開発計画以外の公共事業等も進んでいる状況から、当社だけでは検討の深度化が困難であります。しかしながら、再度のご要望を真摯に受け止め、加えて『国際交流拠点・品川』における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議（2026年2月18日、第19回開催）における議論も踏まえ、当社を含めた関係事業者、関係行政機関及び有識者による協議体において検討・協議を進めることとなり、既に開始されております。なお、協議体における検討・協議の結果等につきましては、改めて本委員会にて報告させていただく予定です。

この協議体においては、5・6街区における決定済の都市計画の変更や建物計画の変更等の開発計画の変更を伴うことも想定され、5・6街区の開発計画に関する各種法令等に基づく具体的な協議を進める中での検討・協議となり、一定期間の時間を要するものであることをご理解願います。なお、この具体的な協議を進めるにあたり、現地保存の検討対象の「信号機跡を含む 5・6 街区間」については別紙1を前提としております。

(3)2026年4月8日開催 第66回高輪築堤調査・保存等検討委員会における委員見解

委員見解（6）

・信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存については、2 月 4 日の委員見解を受けて、JR、

関係事業者、関係行政機関及び有識者による協議体において検討が進められていることに感謝する。協議体における検討・協議の結果等については、本委員会に報告するとのことである。本委員会としては、協議体における検討・協議の経過を注視しながら、最終的な結果を待つことにしたい。なお、2月4日の委員見解で述べたように、信号機跡を含む5・6街区間の現地保存の方策を見通した上で、5・6街区の保護措置に関する結論を得ることとする。

(4)2026年5月13日開催 第67回高輪築堤調査・保存等検討委員会

・「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況について情報共有

2. 協議体における検討・協議結果について

当社を含めた関係事業者、関係行政機関及び有識者による協議体において、「信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤の良好な保存と、歩行者・車両ネットワークを含むパブリックスペースの形成とを実現する都市基盤施設及び結節空間整備の計画について、検討・協議のうえ方策をとりまとめる」ことを目的に、2026年3月～7月にわたり、計6回の検討・協議を実施してまいりました。

具体的には、信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤の現地保存の実現に向けて、以下4点の都市基盤施設等の変更及び建物計画への影響を検討いたしました。【別紙1】

▶都市基盤施設の変更

- ・区画道路4号の形状変更等
- ・高輪築堤を現地保存するため都市計画決定済の都市基盤施設を変更する妥当性・意義

▶5・6街区間の歩行者デッキ・地下車路の一体構造化

▶5・6街区間の結節空間整備

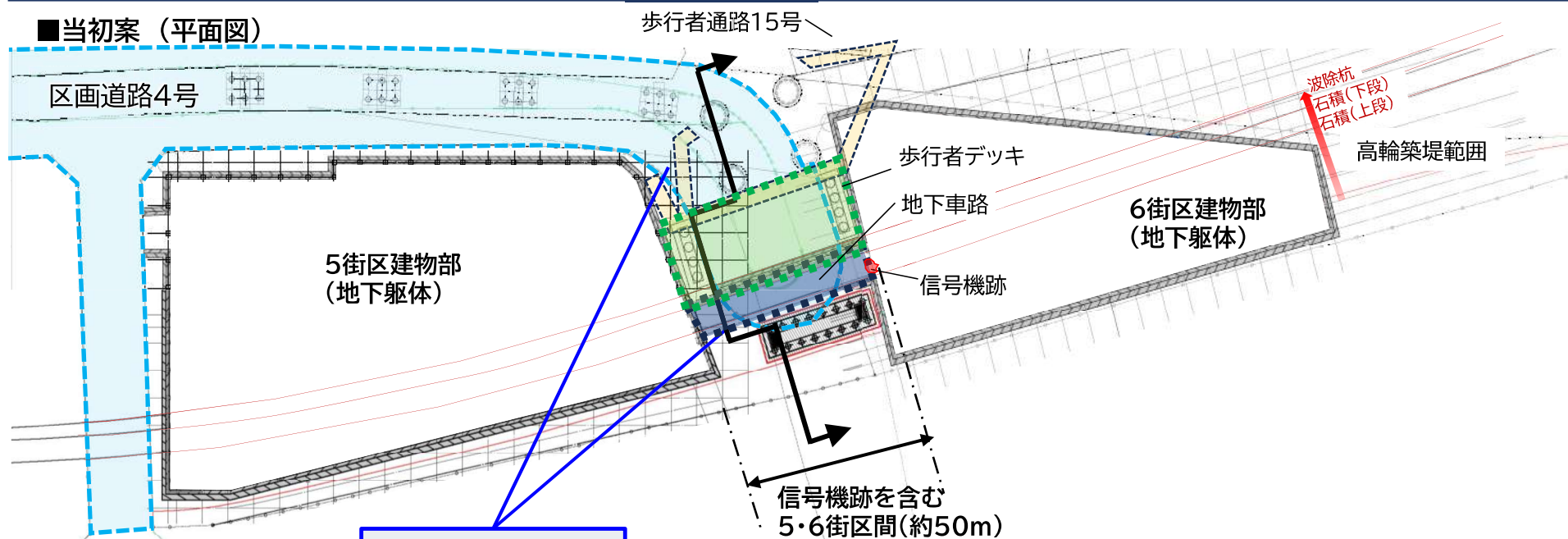
▶信号機跡保存のための事業者による建物計画への影響(事業者として許容可能な範囲内での変更)

信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤の現地保存については、当社だけでは検討の深度化が困難でありましたが、協議体において、関係事業者、関係行政機関及び有識者が専門的知見を尊重しつつ、率直かつ建設的な意見交換を行い、議論を深度化させてきました。

その結果、保護措置整理後に進める都市計画等の各種協議における実務的な検討およびその後の各種法令等手続きは今後となるものの、現時点において信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤の現地保存に向けて、都市基盤施設の変更および歩行者デッキ・地下車路の一体構造化については実現の見通しが得られたことについてご報告します。あわせて、信号機跡の現地保存のため、事業者による建物計画を変更することについて、協議体で共有しました。

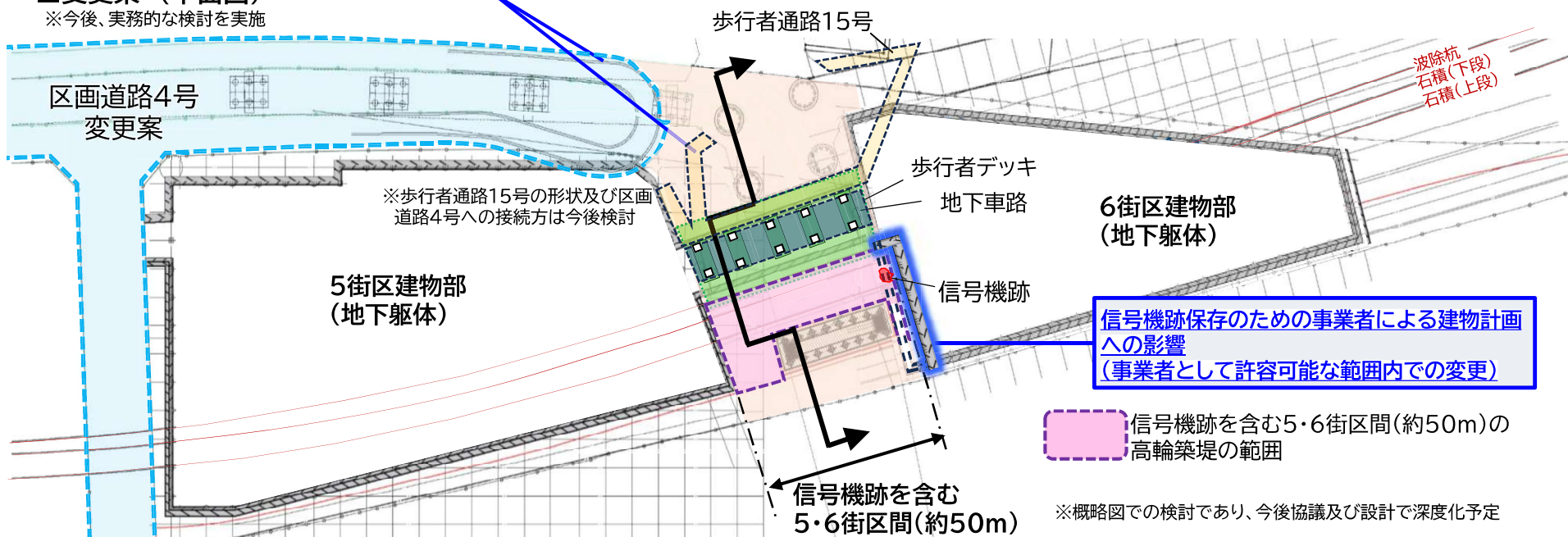
なお、信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤を現地保存することを前提に、都市基盤施設及び結節空間のあり方について、引き続き協議体において実務的な検討を進めてまいります。

■当初案（平面図）

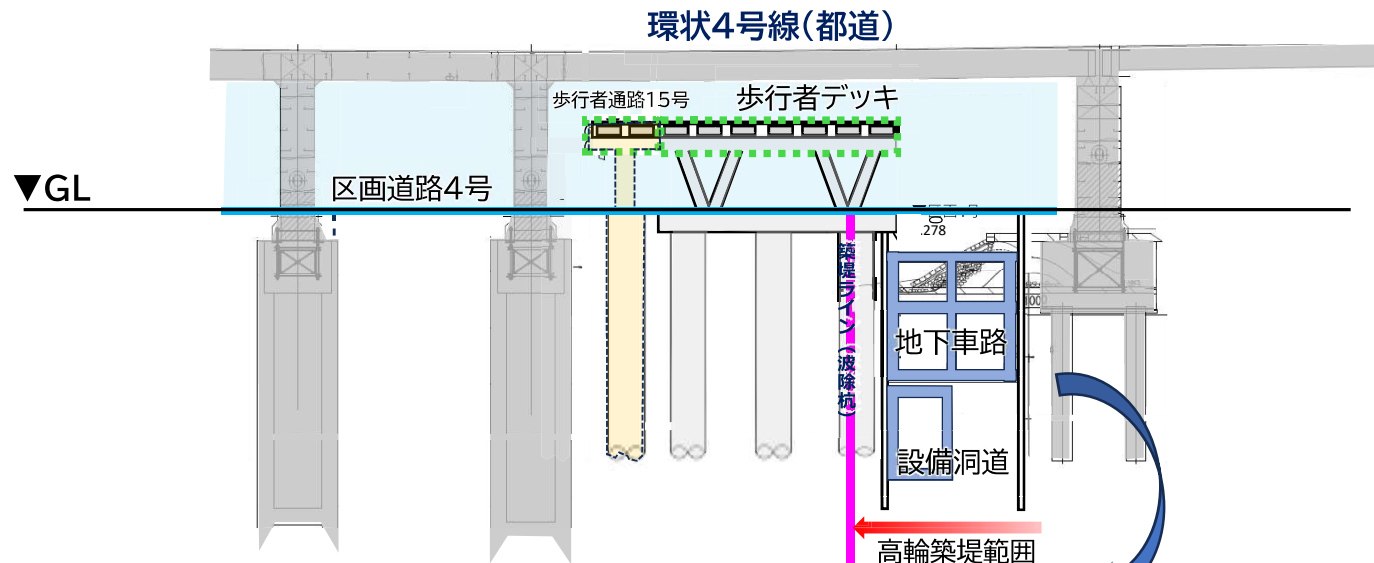


■変更案（平面図）

※今後、実務的な検討を実施

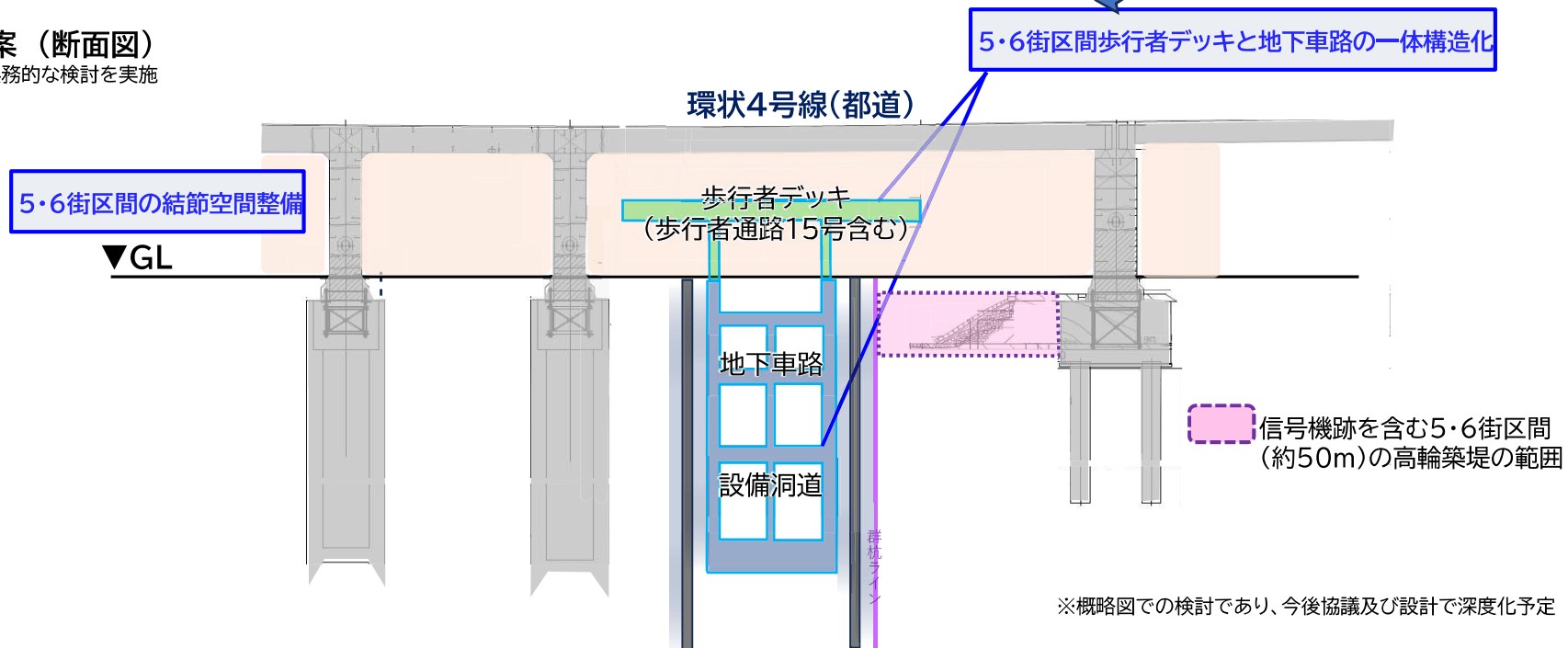


■当初案（断面図）



■変更案（断面図）

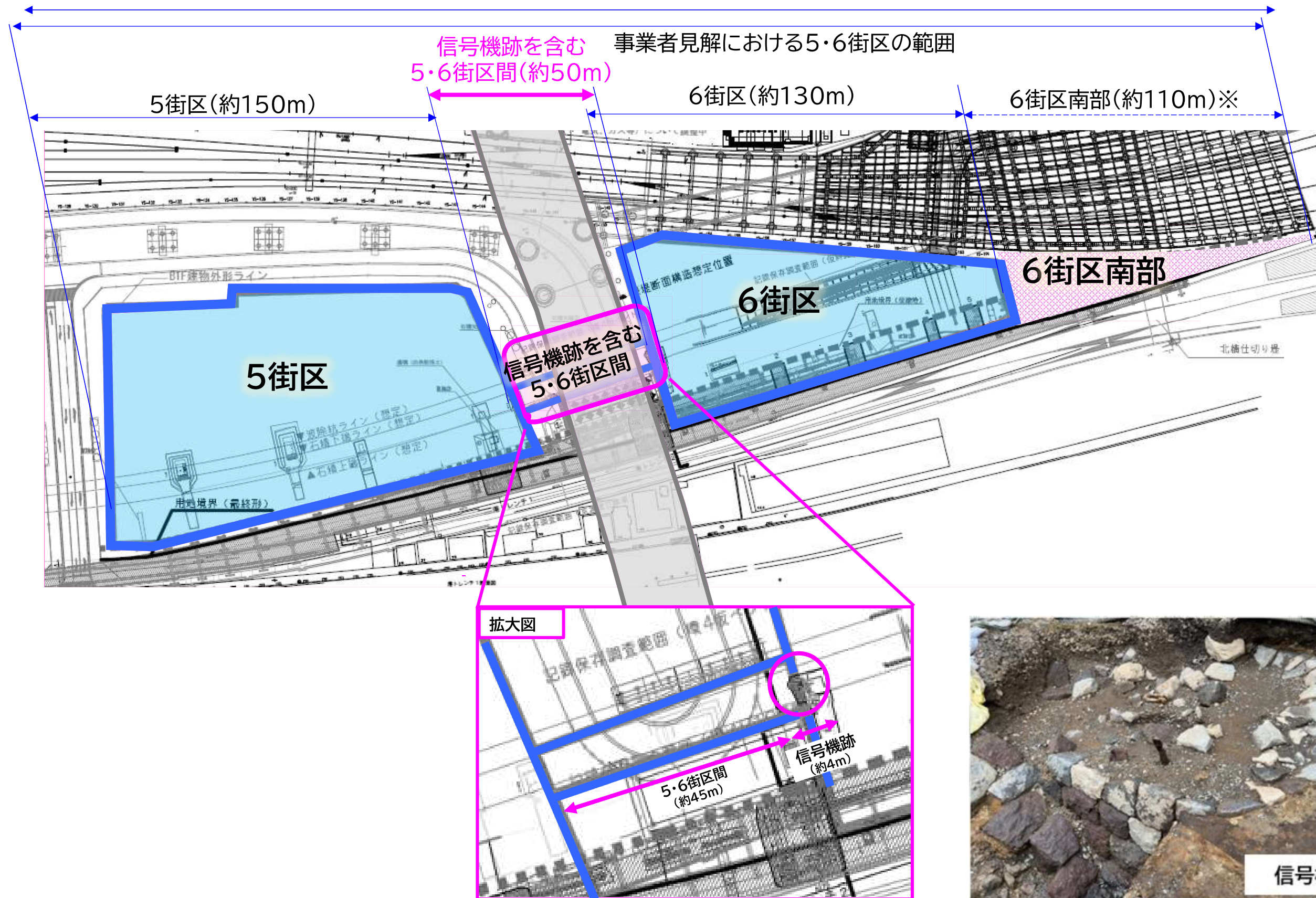
※今後、実務的な検討を実施



※概略図での検討であり、今後協議及び設計で深度化予定

第54回高輪築堤調査・保存等検討委員会資料より(一部加筆)

第19回「国際交流拠点・品川」における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議資料より(抜粋)



2026年7月15日
東日本旅客鉄道株式会社

「5・6 街区の高輪築堤跡の文化財的価値及び保護措置について(6)」に対する 当社の見解について

本文書は、2026年4月8日の第66回高輪築堤調査・保存等検討委員会(以下、「本委員会」という。)において、委員より示された「5・6 街区の高輪築堤跡の文化財的価値及び保護措置について(6)」(以下、「委員見解(6)」という。)に対して、当社の見解について取りまとめたものです。

1. 基本的な考え方

当社が推進する品川のまちづくりは、「これからの日本の成長をけん引する『国際交流拠点・品川』」の核を成すものとして、当社の車両基地の再編及びリニア中央新幹線整備等の鉄道改良事業、土地区画整理事業及び環状4号線等の基盤整備事業と一体のものとして進めています。関係行政・関係事業者・地元の皆様及び多様な共創パートナー等と共に、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」をコンセプトに、「地球益」の実現に向けて、残る1～5・6街区の事業等についても早期に完成させ、『国際交流拠点・品川』の早期実現に貢献してまいります。

まちづくりを進めるなかで出土した「高輪築堤」については、鉄道会社である当社にとって大変意義深く、その価値や保存方針等に関して、本委員会や『国際交流拠点・品川』における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議など複数の会議体を設置し、様々な分野の有識者及び関係行政等からのご助言やご支援を頂いてきており、5・6街区エリアにおけるまちづくりと両立する高輪築堤の保存・継承等についても、2025年3月以降、本委員会で丁寧に議論を積み重ねていただいております。

2. 文化財的価値について

委員見解により示された文化財的価値

- ①高輪築堤跡の遺構は日本の近代化土木遺産を代表する遺跡として、わが国の近代史、鉄道史、土木史、産業史上重要な位置を占めている。また、東京や高輪の地域史を考える上でも貴重な遺跡である。
- ②国史跡「旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡」に指定された、2街区の築堤部及び3街区の第7橋梁橋台部・築堤部と一連のものであり、国指定史跡にふさわしい文化財的価値を有していると評価できる。
- ③高輪築堤跡の文化財的価値の判断基準は、「希少性」「連続性」「遺存度」「歴史的重層性」という観点に基づいている。
- ④5・6街区及び隣接地区の高輪築堤跡は、1～4街区の高輪築堤跡と同等の文化財的価値を有するとともに、高輪築堤跡の構造の多様性を示す貴重な遺構であると考えられる。高輪築堤跡の構造の多様性は構築方法の違いや構築時の工区を示すものである。また、第8橋梁及びそれにとまなう南北横仕切堤が含まれ、旧品川停車場につながる部分にあたる点も重要である。

⑤ 6 街区の海側石垣に設置された張り出し遺構は、4 街区で検出された信号機跡と類似しており、わが国最初期の信号機跡と推定される貴重な遺構である。

上記に対する当社の見解は、2025 年6月の第 56 回本委員会において「委員見解を出発点とし、今後の検討の中で内容の確認や相談をさせていただくこと」を、委員・当社間で相互に確認をしており、現時点において内容の確認や相談をさせていただくことはありません。

3. 委員見解にいただいた見解に対する回答を含めた当社見解

<委員見解(6)>

・信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存については、2 月 4 日の委員見解を受けて、J R、関係事業者、関係行政機関及び有識者による協議体において検討が進められていることに感謝する。協議体における検討・協議の結果等については、本委員会に報告することである。本委員会としては、協議体における検討・協議の経過を注視しながら、最終的な結果を待つことにしたい。なお、2 月 4 日の委員見解で述べたように、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の方策を見通した上で、5・6 街区の保護措置に関する結論を得ることとする。

資料2でご報告の通り、今後保護措置整理後に進める都市計画等の各種協議における実務的な検討およびその後の各種法令等手続きは今後となるものの、現時点において「信号機跡を含む5・6街区間の高輪築堤(約50m)の現地保存」と両立する都市基盤施設の変更および歩行者デッキ・地下車路の一体構造化について実現の見通しが得られており、あわせて、信号機跡の現地保存のため建物計画を変更します。

<委員見解(6)>

・6 街区南部の第 8 橋梁北横仕切堤については、これまでの調査成果から、遺存状態は第 7 橋梁南北横仕切堤の方が良く、石垣は後に暗渠の一部に転用されているが、第 7 橋梁南北横仕切堤との共通点を有しており、新橋・横浜間で北横仕切堤、南横仕切堤は第 7・8 橋梁にともなうこの 2 ヶ所しかないところから、希少性の高い遺構であることが指摘された。こうした所見は、第 8 橋梁及びそれにともなう南北横仕切堤の文化財的価値が重要であるとした委員見解を支持するものである。

・J R 見解では、第 8 橋梁北横仕切堤を含む高輪築堤跡(約 110m)の現地保存を実現しているとされるが、高輪築堤跡(約 110m)のうち大半が 6 街区南部の東側の線路下にあたっている。6 街区南部では、調査によって高輪築堤跡複線期の裾ラインを確認しているが、北横仕切堤より南では街区外の線路下に裾ラインが想定される。また、線路下の高輪築堤跡の遺構の状況は明確になっていない。したがって、今後は線路下の高輪築堤跡の遺構の状況を確認する必要がある。

6 街区南部における開発計画との関係については、これまでもご説明しているとおり、費用増を伴う計画変更を実施し、第 8 橋梁部北横仕切堤を含む高輪築堤(約 110m)の現地保存を実現しております。

6 街区南部の東側は掘削を伴う開発計画を行わない範囲であり、鉄道の安全・安定輸送の観点からも営業線直下や近接範囲の試掘は困難と考えますが、今回、港区教育委員会事務局

において、過去の6街区南部周辺で実施された調査を取りまとめていただきました。

<委員見解(6)>

また、2025年12月3日の委員見解において、「4街区第7橋梁南横仕切堤跡の『移築保存』に関するこれまでの検討経過及び今後の見通しについて説明を求める。」と要望したが、1月7日のJR見解では、「4街区第7橋梁南横仕切堤跡の移築保存先の確保が未済であり、今後の見通しについて示せる状況にない。」という回答であった。また、関係行政に対して「今後も関係行政等と連携のうえ検討を行うが、移築の候補地等については関係行政からの提案、助言をお願いしたい。」と述べている。本件については、引き続き具体的な移築保存先の確保の検討をお願いしたい。

4街区第7橋梁南横仕切堤跡の移築保存の検討要望につきましては、開業済みの1～4街区では移築可能な場所の確保が困難であること、また保存方針を協議中である5・6街区においても、現時点では移築可能な場所の確保の見通しが立っていない状況にあることは、これまでもご報告しているとおりです。

当社ならびに文化財行政は、第7橋梁南横仕切堤跡の文化財的価値を踏まえた移築について、議論を重ねてきております。

今後、5・6街区における保護措置に関する結論を得たのちに、具体的な移築方法等について、当社ならびに文化財行政で検討・協議を進めてまいりたいと考えます。

5・6街区エリアにおけるまちづくりと高輪築堤の保存・継承との両立につきましては、2024年9月から12月にかけて実施された港区教育委員会による確認調査を踏まえ、2025年3月第53回本委員会以降、これまで計十数回にわたり継続的に検討・協議を重ねていただきました。

- ・5街区、5・6街区間及び6街区計約330m(6街区南部を除く)の区間は、JR線及び京急線に挟まれた立地にあり、加えて都市基盤施設が整備済又は整備中であるなど、開発計画上の厳しい制約条件があるエリアです。(別紙1)

- ・また、この区間は、TAKANAWA GATEWAY CITYと品川駅を接続する結節エリアであり、開発価値が極めて高く、1～6街区全体で進める公共性の高いまちづくりを通じて、『国際交流拠点・品川』の実現に寄与する重要なエリアです。

- ・このため、この区間には、歩行者ネットワーク、一般車両・物流ネットワーク、駐車場機能、エネルギーセンター・エネルギーネットワーク等、1～6街区全体のまちづくりを成立させるために必要な各種機能を複合的に計画しており、その主要なものは建物地下部において確保する必要があります。(別紙2)

- ・当社は、委員見解を出発点として、全面的な現地保存、信号機跡及び築堤部100m以上の現地保存について、数多くの具体的かつ合理的な開発計画のシミュレーションを実施し、網羅的に検討を行いました。(別紙3-1～3-3)

- ・しかしながら、いずれの検討案についても、歩行者・車両・エネルギー等の各ネットワーク機能の確保、建物計画の成立、公共性の高いまちづくりの実現及び開発価値の確保等の

観点から、開発計画への影響が著しく、現地保存との両立は困難であることを確認しており、委員見解(5)においても、「JR 見解において、5・6街区での築堤部 100m以上の区間の現地保存が難しいとされたことは理解できる」とお示しいただいております。

・そのような状況のなか、委員見解(5)における再度のご要望を受けて、「信号機跡を含む 5・6街区間の高輪築堤(約 50m)の現地保存」について、関係事業者、関係行政機関及び有識者の皆様との検討・協議の結果、実現の見通しが得られております。なお、当社はこの検討・協議において、現地保存を可能とするよう、厳しい制約条件のなかで建物計画の一部変更を対応しております。(別紙4)

・なお、今般の都市基盤施設・建物計画変更の実現の見通しが得られたことを踏まえ、5・6街区にまたがることも含めた5・6街区全体での築堤部 100m以上の現地保存について、具体的な開発計画のシミュレーションを追加検討いたしました。これまでの検討と同様に、開発計画への影響が著しく、事業者として許容できる範囲を大きく超えております。(別紙3-4、別紙5)

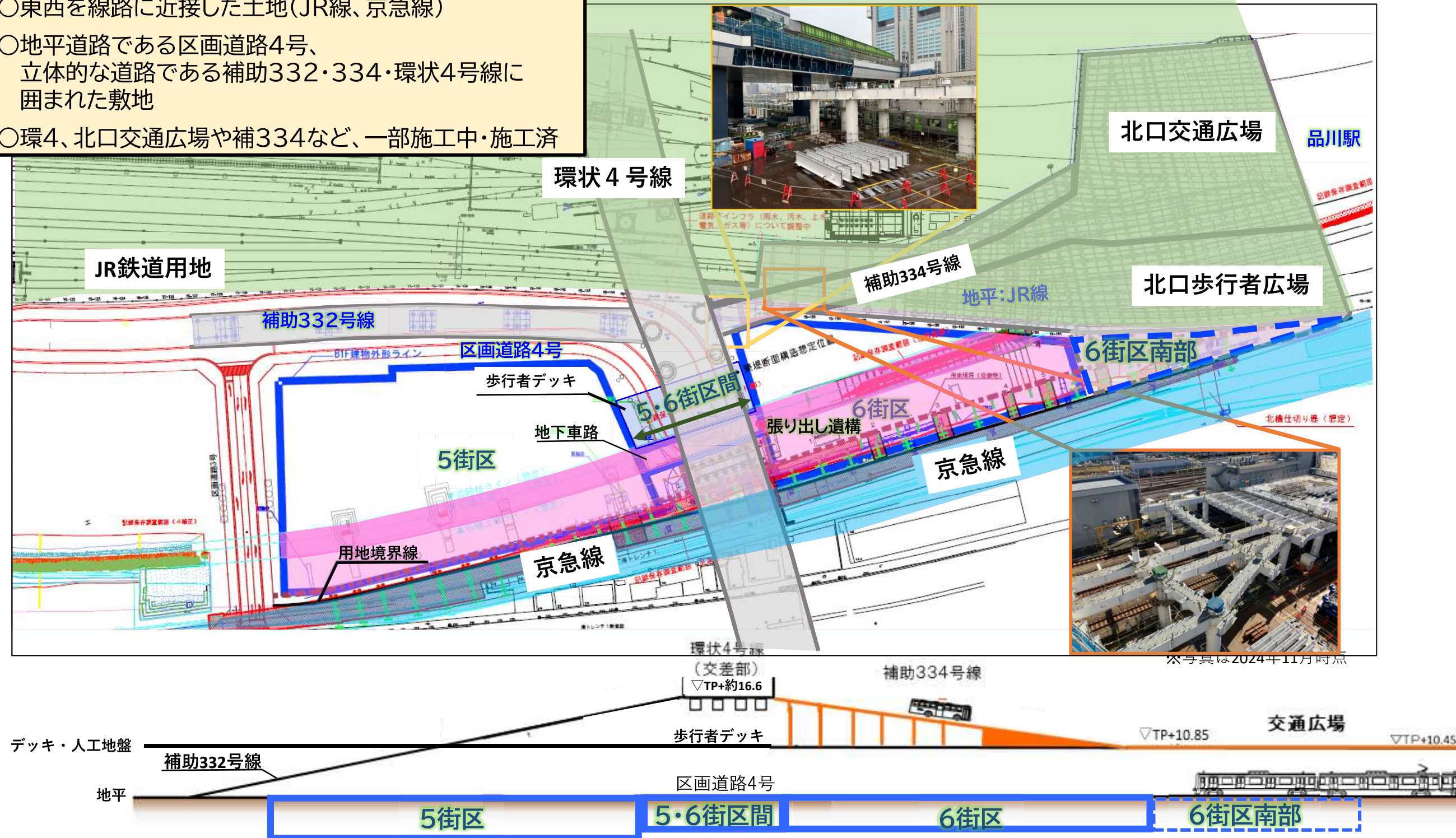
当社といたしましては、1～4街区に続き、5・6街区においても具体的な設計及び都市計画協議等を進め、高輪築堤の保存・継承との両立を図りながら、1～6街区全体での公共性の高いまちづくりを完成させ、『国際交流拠点・品川』の実現に貢献してまいりたいと考えております。

つきましては、事業者としてまちづくりと高輪築堤の保存・継承との両立に向けた最終的な方針を整理してまいりたいと存じますので、これまでの検討・協議及び当社見解をご理解いただいたうえで、すみやかに5・6街区の保護措置の取りまとめをお願いいたします。

【基盤上の制約等】

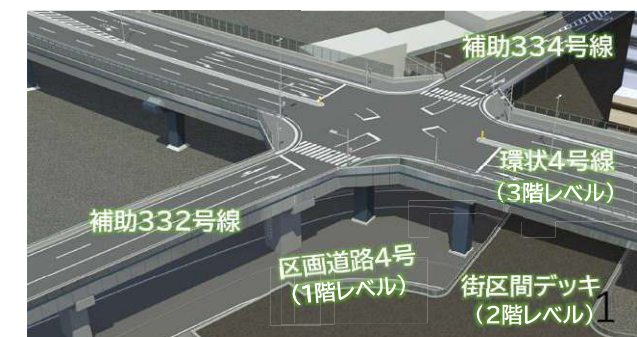
- 東西を線路に近接した土地(JR線、京急線)
- 地平道路である区画道路4号、立体的な道路である補助332・334・環状4号線に囲まれた敷地
- 環4、北口交通広場や補334など、一部施工中・施工済

※2025年4月9日開催 第54回調査保存等検討委員会資料【別紙4-3】に一部加筆



【高輪築堤との関係】

- 開発計画部における築堤部面積の割合
 - ・開発計画部面積: 約19,300㎡
 - ・開発計画部内築堤部面積: 約10,100㎡ (約56%)
- 張り出し遺構が6街区計画建物北端部及び地下車路と重複
- 既に一部環4・京急連立等の公共事業に伴う記録保存調査等を実施



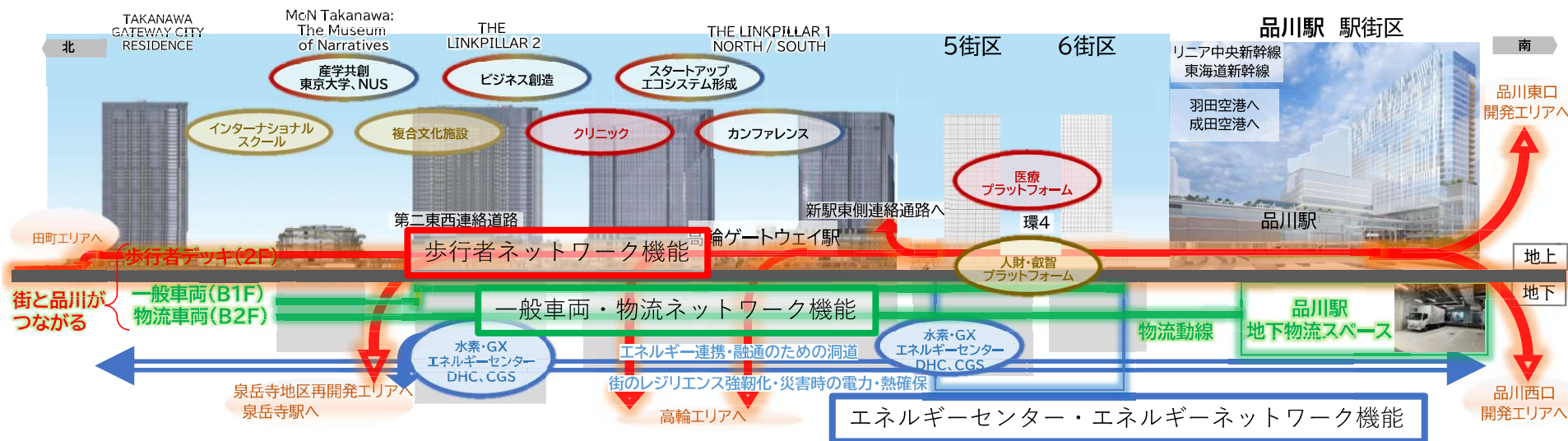
【取扱注意】
本資料は無断複製・複写を禁じます

※現時点のイメージであり、今後変更となる場合があります

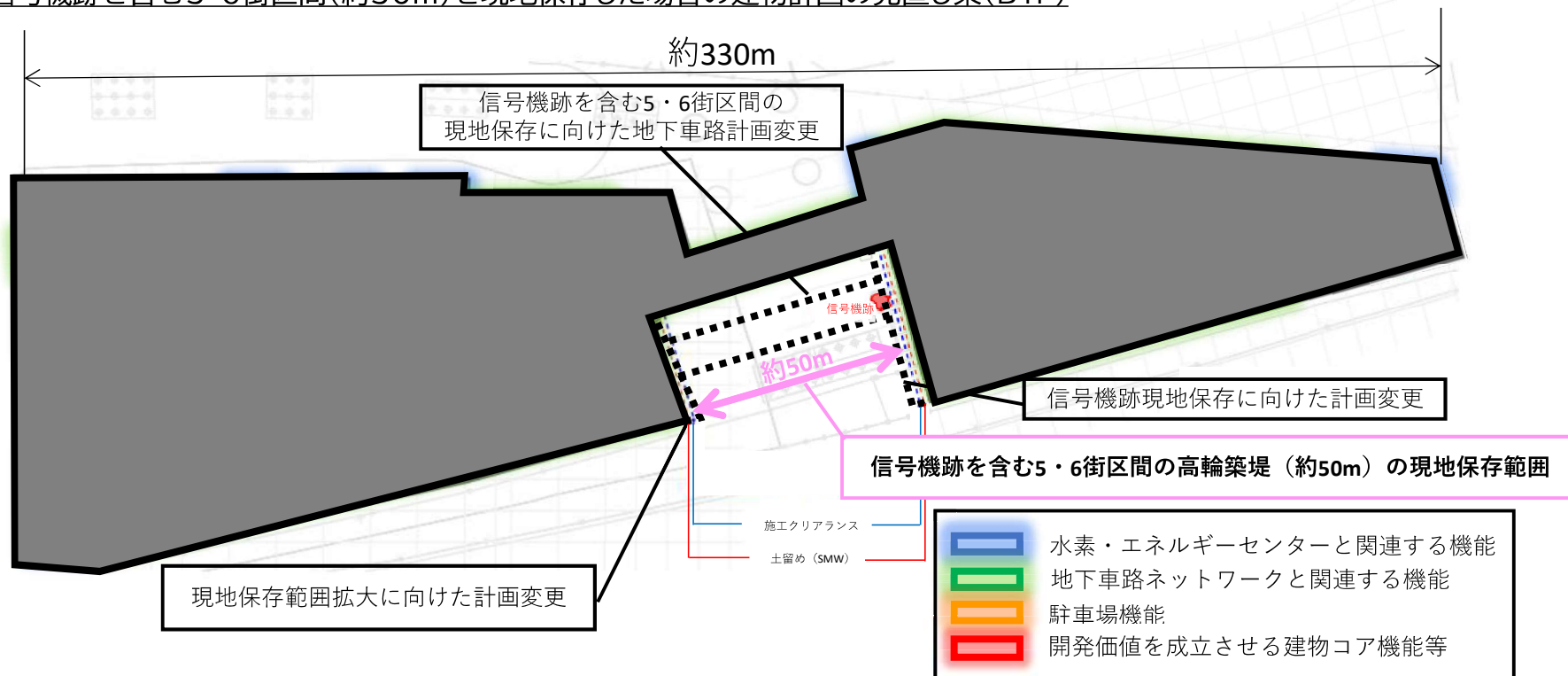
■ 1～6街区及び品川駅エリアの全体計画(立面図)

※ 一部非公開資料

資料3 別紙2



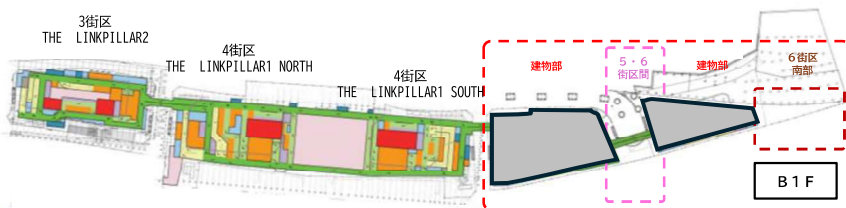
■ 信号機跡を含む5・6街区間(約50m)を現地保存した場合の建物計画の見直し案(B1F)



基本計画 第54回委員会(2025年4月)

1～6街区全体のまちづくりを早期に完成させ、『国際交流拠点・品川』の早期実現に貢献

「地球益」の実現を目指し
「国際イノベーション拠点」を
形成するため重点的に取り組む三本柱



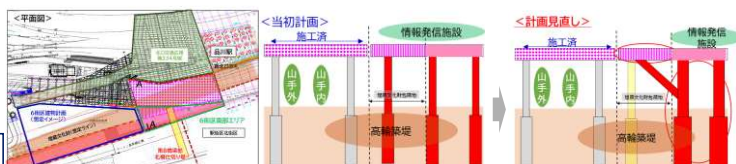
6街区南部における現地保存の検討 第54回委員会(2025年4月)

・特殊な構造架構の採用等、大幅な費用増を伴う計画変更

①



○第8橋梁部北横仕切堤を含む6街区南部の現地保存(約110m)を実現



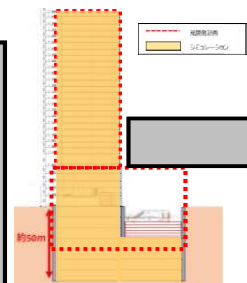
5街区_高輪築堤を受け替えた構造による現地保存の検討 第54回委員会(2025年4月)

・敷地形状及び建物構造上、隣接地(京急線)の支障が前提
・大規模機械式駐車場が配置できず、平面駐車場を地下深くに整備せざるを得ない

②

- 施工方法により築堤の破損が生じる
- 築堤の劣化が生じ、良好な保存環境確保に課題
- 工事費が膨大
- 建物収益床の棄損

非公開資料



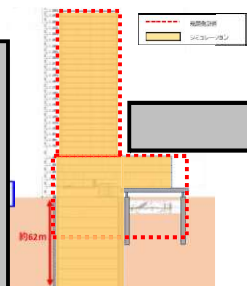
5街区_高輪築堤を跨いだ構造による現地保存の検討 第54回委員会(2025年4月)

・敷地形状及び建物構造上、隣接地(京急線)の支障が前提
・大規模機械式駐車場が配置できず、平面駐車場を地下深くに整備せざるを得ない

③

- 施工方法により築堤の破損が生じる
- 築堤の劣化が生じ、良好な保存環境確保に課題
- 工事費が膨大
- 建物収益床の棄損

非公開資料



5街区_高輪築堤を避けた構造による現地保存の検討 第54回委員会(2025年4月)

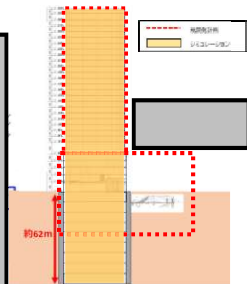
大規模機械式駐車場が配置できず、平面駐車場を地下深くに整備せざるを得ない

④

- 工事費が膨大
- 建物収益床の棄損

※大深度の掘削を前提にした建築計画の実現は困難

非公開資料



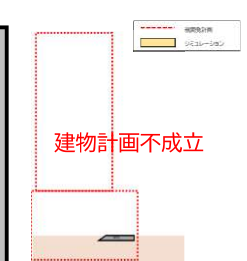
6街区_高輪築堤を避けた構造による現地保存の検討 第54回委員会(2025年4月)

高輪築堤面積が建物範囲の大部分を占め建物コアや駐車場等が不成立

⑤

- 事業採算性の成立を前提とした場合、建物計画の策定不可

非公開資料



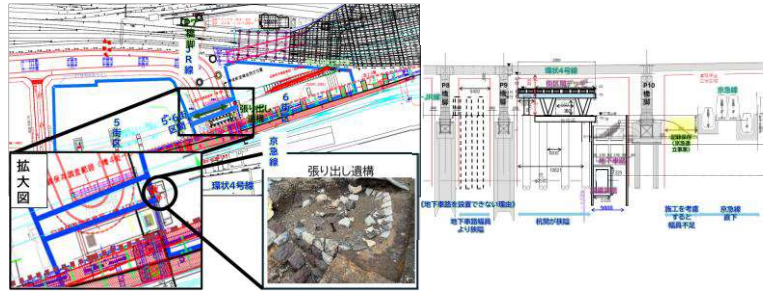
5・6街区間における現地保存の検討

第54回委員会(2025年4月)

鉄道や道路構造物等に挟まれた狭隘な空間において、歩行者、エネルギー、一般車両・物流等のネットワークを確保

⑥

○地下車路と設備洞道が高輪築堤(信号機跡含む)と全面的に重複



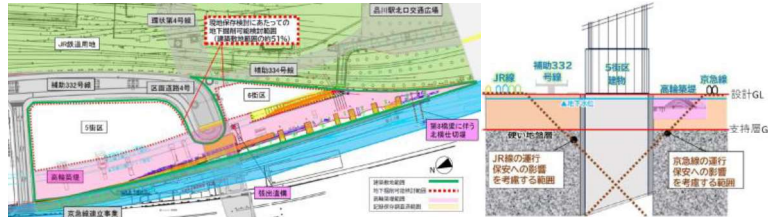
全面的な現地保存の検討

第58回委員会(2025年8月)

地下掘削可能検討範囲は建築敷地範囲の約51%

⑦

○大深度の掘削を前提にした建築計画の実現は困難



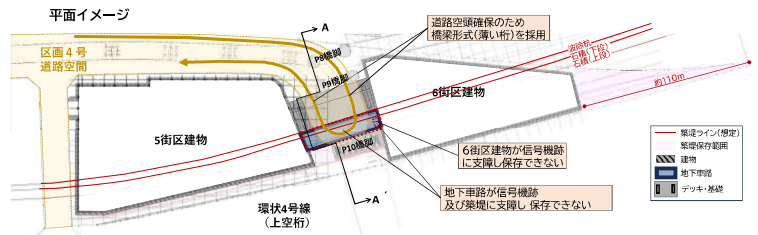
5・6街区間における現地保存の検討

第61回委員会(2025年11月)

同一構造物とするシミュレーションを実施するも課題多数

⑧

○成立性の検証にあたっては、事例も少ないなかで、詳細な構造検討や協議等が必要であり、時間と費用を要する



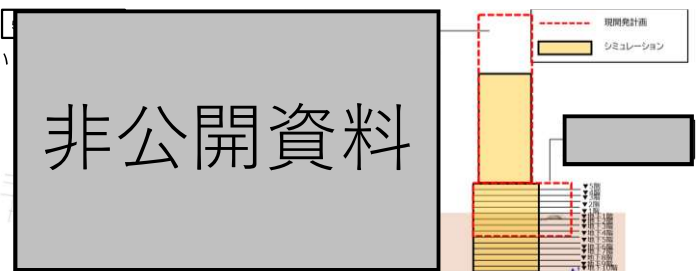
5街区建物部における100m以上の現地保存の検討

第61回委員会(2025年11月)

大規模機械式駐車場が配置できず、平面駐車場を地下深くに整備せざるを得ない

⑨

○2,000億~3,000億程度の価値棄損
○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材・医療・水素GX)」の実装が困難
○車両動線上で交錯部が生じるため安全面に課題



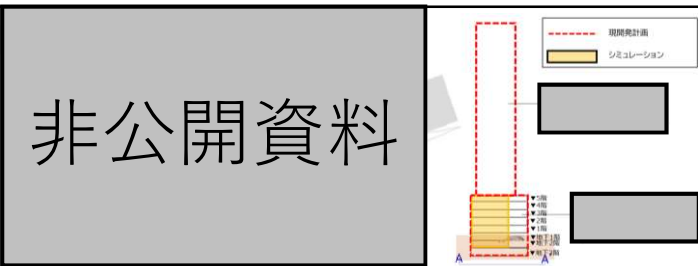
6街区建物部における100m以上の現地保存の検討

第61回委員会(2025年11月)

建物コア、コアに付随する機能、車両動線等スペースの確保が出来ず、建築計画が成立しない

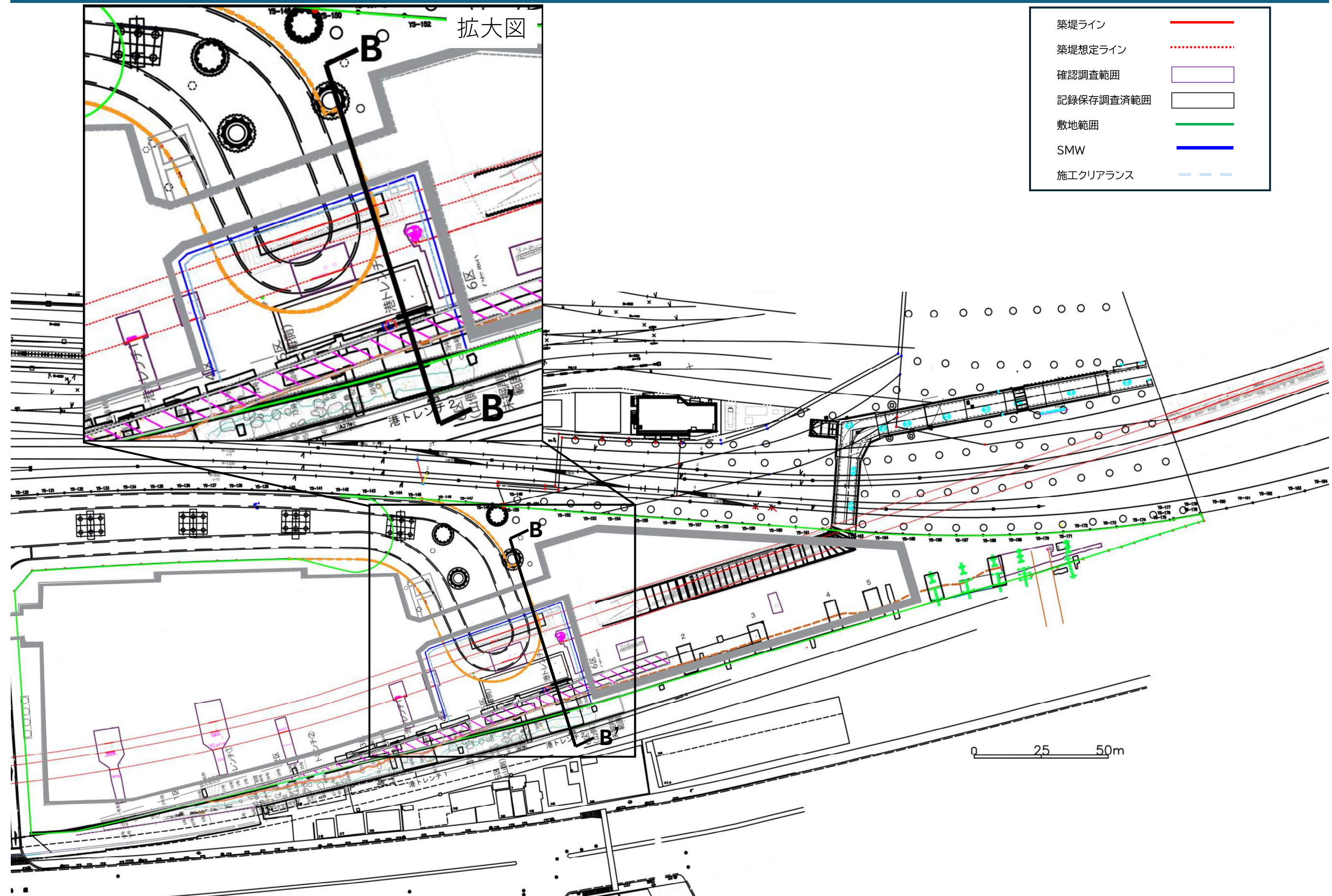
⑩

○価値の毀損が膨大
○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材・医療・水素GX)」の実装が困難

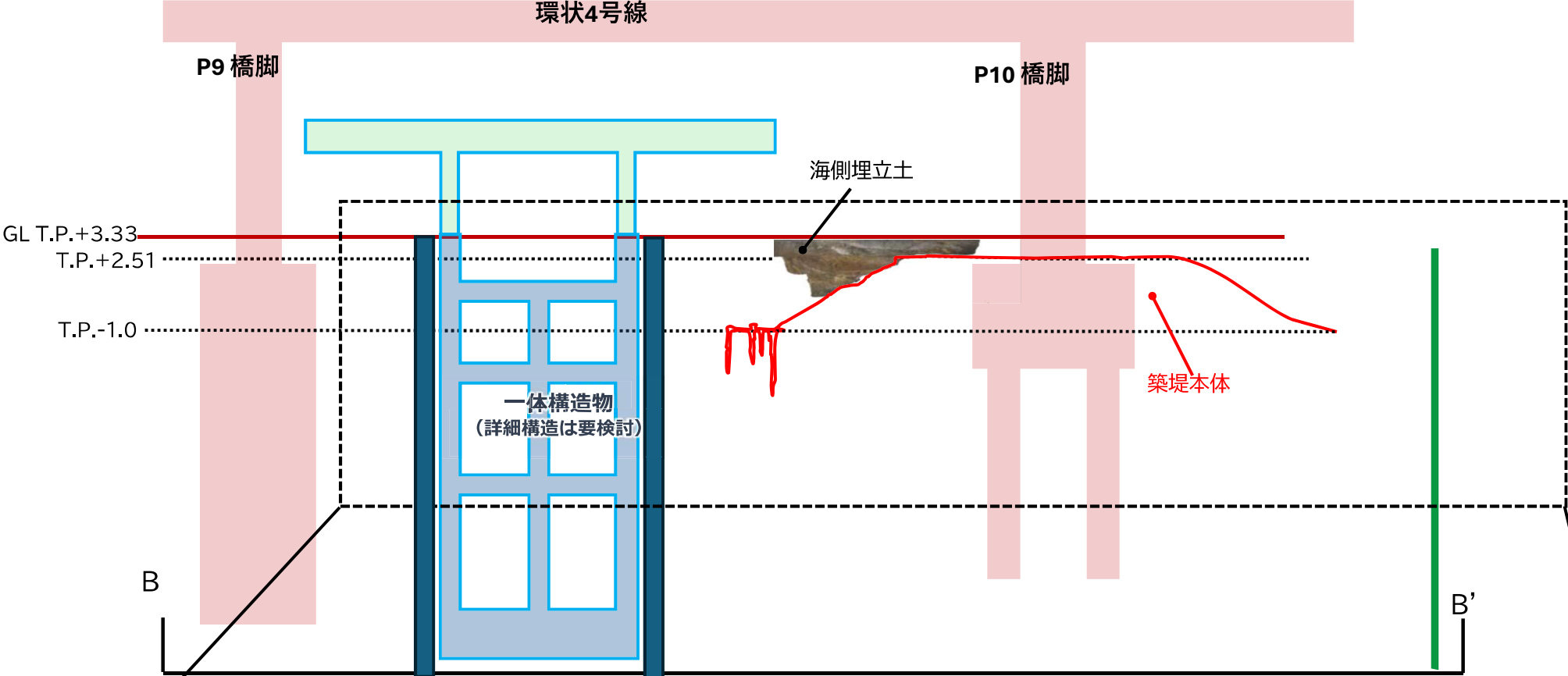


⑪	5街区建物部(50m)・5・6街区間(50m)における現地保存の検討 第62回委員会(2025年12月) 線路直下での地下車路設置に伴い、大規模掘削による膨大な事業費の増加(+600億円)と工期の長期化(+8年) ↓ ○2,000億～3,000億程度の価値棄損 ○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ○車両動線上で交錯部が生じるため安全面に課題	非公開資料
⑫	6街区建物部(50m)・5・6街区間(50m)における現地保存の検討 第62回委員会(2025年12月) 線路直下での地下車路設置に伴い、大規模掘削による膨大な事業費の増加(+1,000億円)と工期の長期化(+10年) ↓ ○2,000億～3,000億程度の価値棄損 ○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ○車両動線上で交錯部が生じるため安全面に課題	非公開資料
⑬	5街区建物部(50m)・5・6街区間(50m)における現地保存の検討 第63回委員会(2026年1月) 線路直下での地下車路設置に伴い、大規模掘削による膨大な事業費の増加(+1,000億円)と工期の長期化(+10年) ↓ ○2,000億～3,000億程度の価値棄損 ○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ○車両動線上で交錯部が生じるため安全面に課題	非公開資料
⑭	5街区建物部(25m)・5・6街区間(50m)・6街区(25m)における現地保存の検討 第63回委員会(2026年1月) 線路直下での地下車路設置に伴い、大規模掘削による膨大な事業費の増加(+1,000億円)と工期の長期化(+10年) ↓ ○2,000億～3,000億程度の価値棄損 ○日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ○車両動線上で交錯部が生じるため安全面に課題	非公開資料

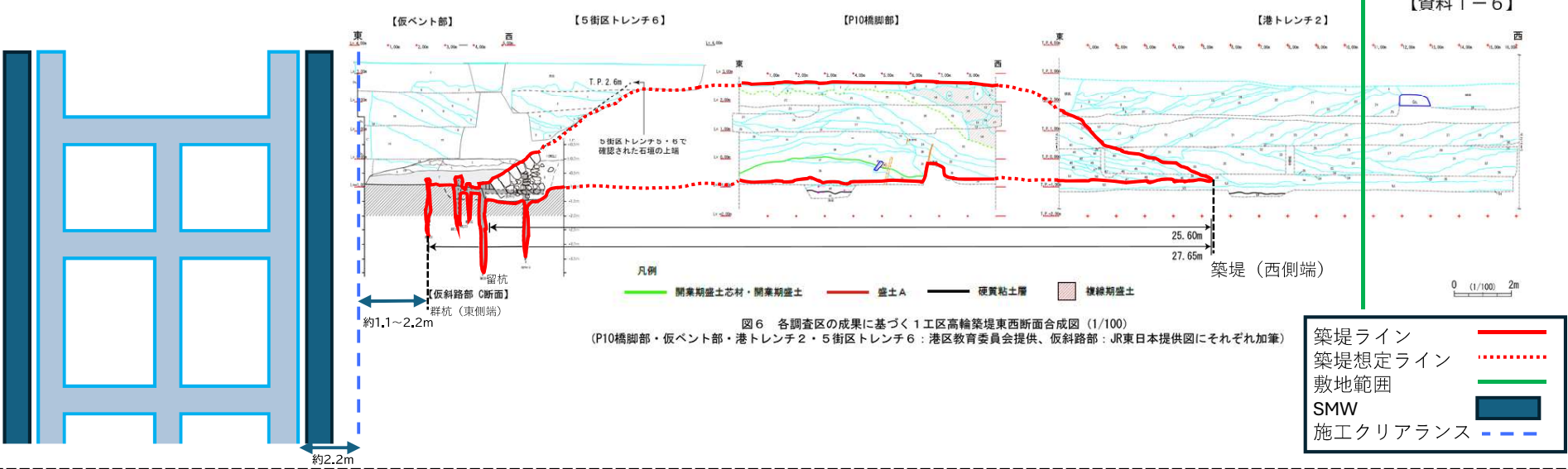
⑮	<追加検討> 5街区建物部(50m)・5・6街区間(50m)における現地保存の検討 ・大規模機械式駐車場設置が不可となることによる大規模な地下掘削や、5街区建物部の床面積大幅減により、開発計画として約1,000～2,000億円程度の価値棄損 ・車両動線上で交錯部が生じ、安全面に課題のある建築計画	非公開資料	別紙4-1
⑯	<追加検討> 6街区建物部(50m)・5・6街区間(50m)における現地保存の検討 ・6街区建物部の床面積大幅減等により、開発計画として約1,000～2,000億円程度の価値棄損 ・1～6街区全体で「国際交流拠点・品川」の実現に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ・車両動線上で交錯部が生じ、安全面に課題のある建築計画	非公開資料	別紙4-2
⑰	<追加検討> 5街区建物部(25m)・5・6街区間(50m)・6街区建物部(25m)における現地保存の検討 ・大規模機械式駐車場設置が不可となることによる大規模な地下掘削や、5街区・6街区建物部の床面積大幅減により、開発計画として約1,000～2,000億円程度の価値棄損 ・日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難 ・車両動線上で交錯部が生じ、安全面に課題のある建築計画	非公開資料	別紙4-3



5・6街区間B-B'断面

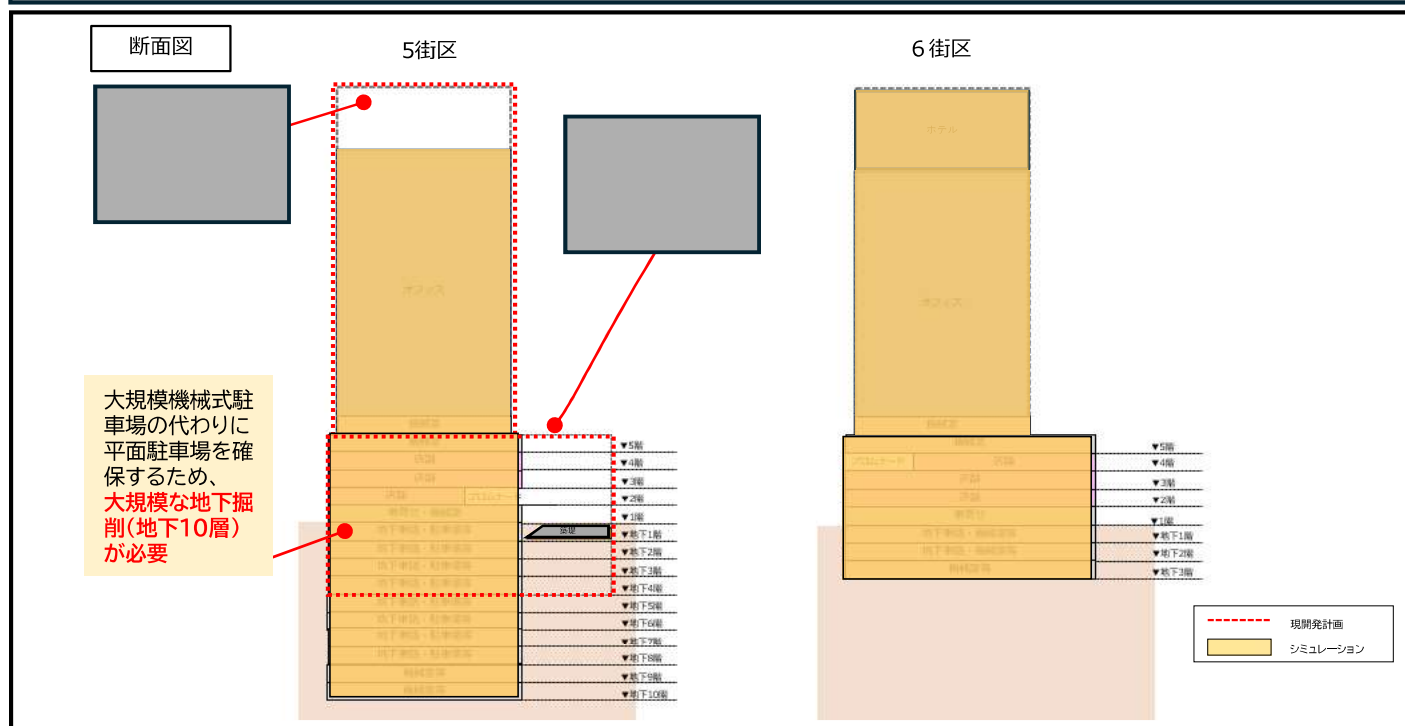


第56回調査・保存等検討委員会1-6（東京都教育庁資料）より抜粋・一部加筆
【資料1-6】



5街区建物部(50m)と5・6街区間(50m)において、築堤部100m以上を現地保存をした場合の開発計画

非公開資料

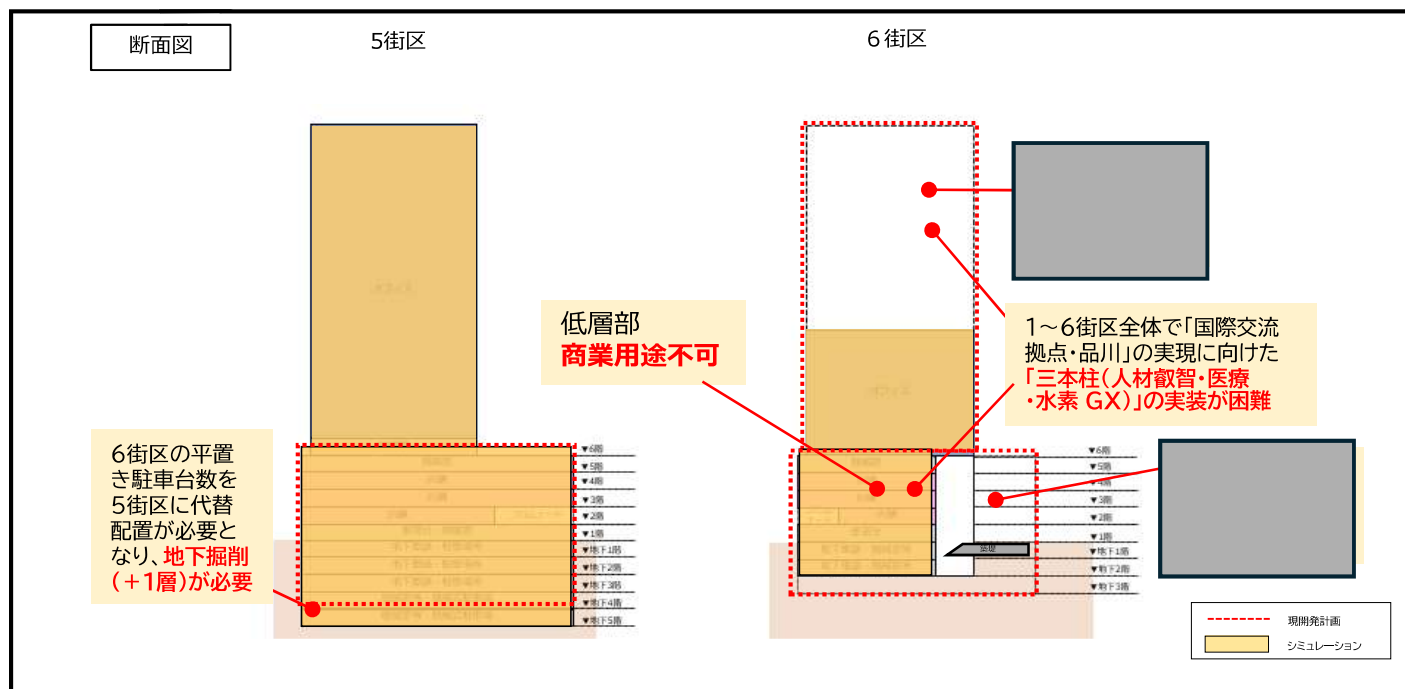


■開発計画への影響

- ・大規模機械式駐車場設置が不可となることによる大規模な地下掘削や、5街区建物部の床面積大幅減により、開発計画として約1,000～2,000億円程度の価値棄損
- ・車両動線上で交錯部が生じ、安全面に課題のある建築計画

6街区建物部(50m)と5・6街区間(50m)において、築堤部100m以上を現地保存をした場合の開発計画

非公開資料

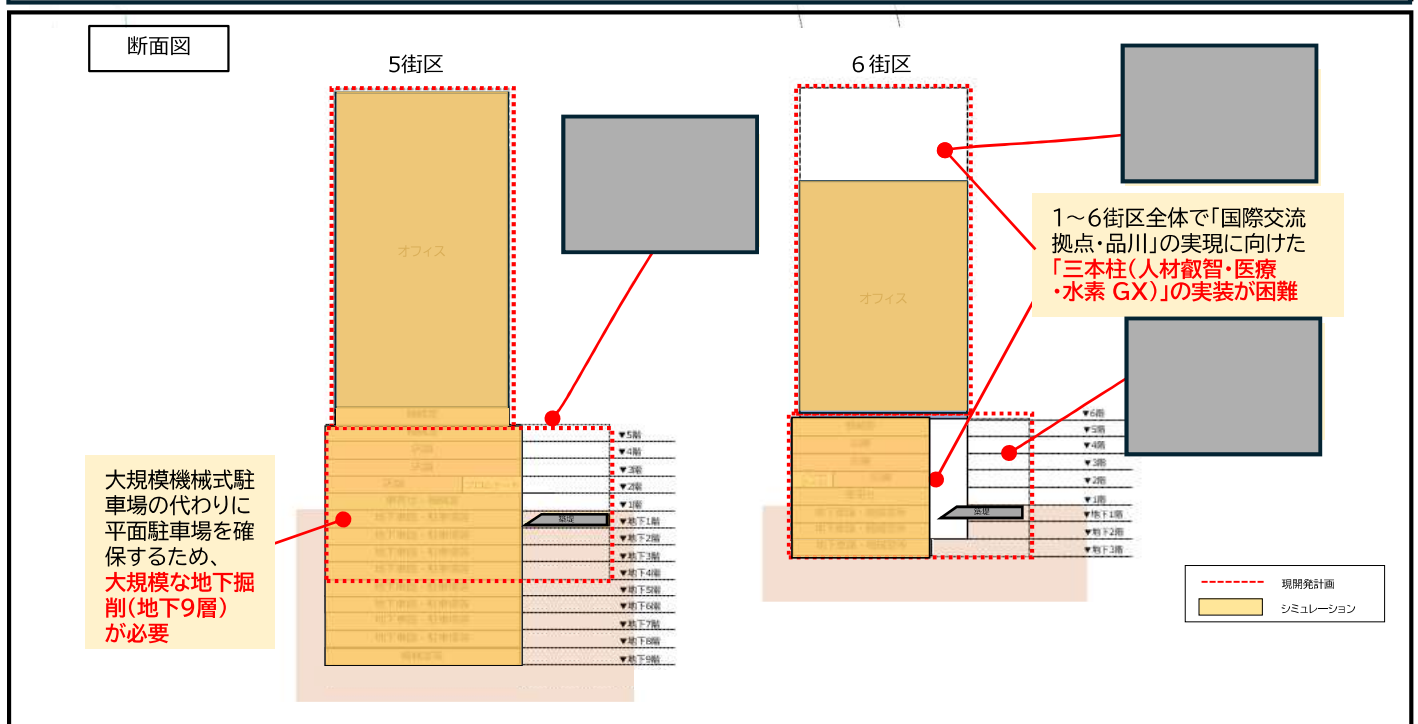


■開発計画への影響

- ・6街区建物部の床面積大幅減等により、開発計画として**約1,000～2,000億円程度の価値棄損**
- ・1～6街区全体で「国際交流拠点・品川」の実現に向けた**「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難**
- ・車両動線上で交錯部が生じ、**安全面に課題のある建築計画**

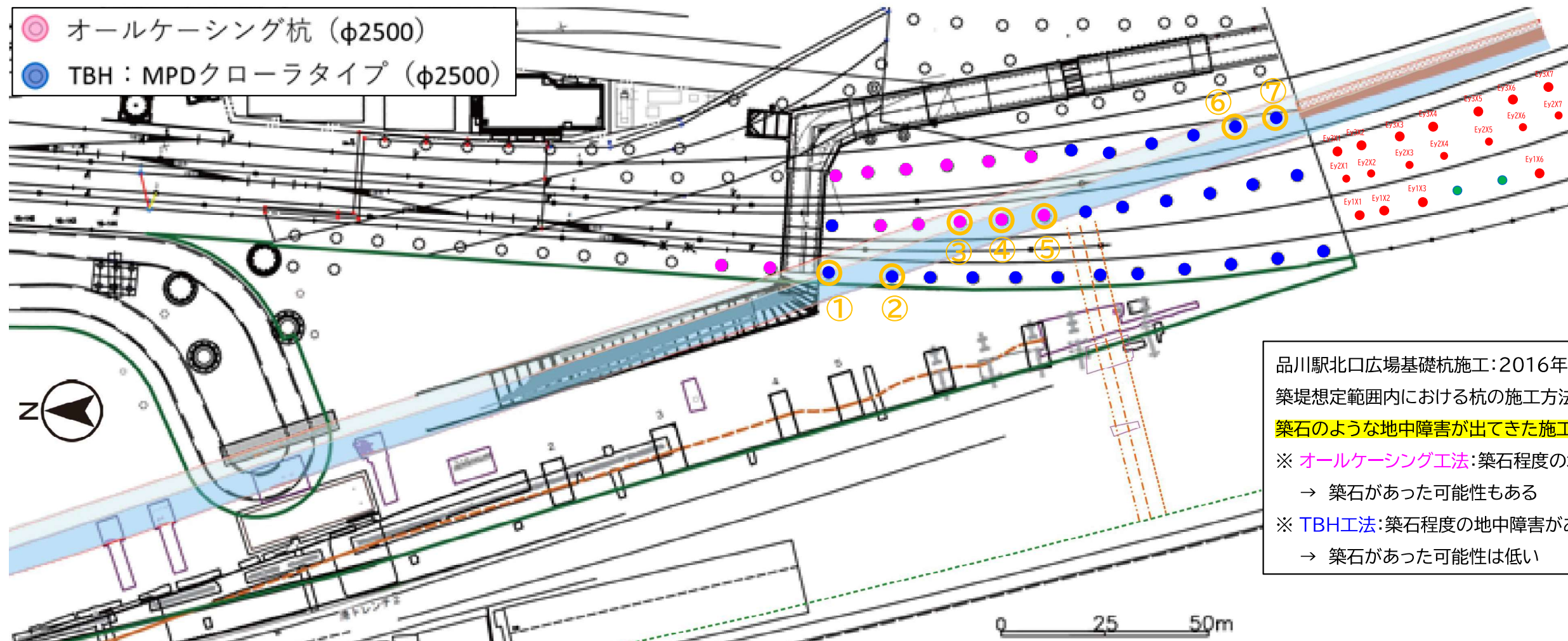
5街区建物部(25m)と5・6街区間(50m)6街区建物部(25m)において、
築堤部100m以上を現地保存をした場合の開発計画

非公開資料



開発計画への影響

- ・大規模機械式駐車場設置が不可となることによる大規模な地下掘削や、5街区・6街区建物部の床面積大幅減により、開発計画として約1,000～2,000億円程度の価値棄損
- ・日本の社会課題解決に向けた「三本柱(人材叡智・医療・水素 GX)」の実装が困難
- ・車両動線上で交錯部が生じ、安全面に課題のある建築計画



品川駅北口広場基礎杭施工: 2016年
 築堤想定範囲内における杭の施工方法: ●**オールケーシング工法**及び●**TBH工法**
築石のような地中障害が出てきた施工記録は無い
 ※ **オールケーシング工法**: 築石程度の地中障害があった場合でも確認は難しい
 → 築石があった可能性もある
 ※ **TBH工法**: 築石程度の地中障害があった場合は掘削できない可能性が高い
 → 築石があった可能性は低い

○オールケーシング工法概要

<削孔方法>

ケーシングチューブを回転圧入しながら地盤を切削し、ケーシングチューブ内の土砂をハンマグラブにて掘削・排土を行う。粗石、巨石、岩盤や、既存杭などの地中障害物などを含む地盤でも施工することができる。



重機ヤード等が大規模となるため、施工ヤードが十分に取れる個所や列車から離れた箇所で施工可能



施工記録には築堤石のような地中障害が出てきた記録はなし
 (地中障害があった場合でも一般的には工法上、確認は難しい)

③箇所: オールケーシング工法



④箇所: オールケーシング工法



⑤箇所: オールケーシング工法



○TBH工法概要

<削孔方法>

ボーリングロッドの先端に取り付けたビットを回転させ削孔し、その土砂を孔内水とともにポンプにより地上に吸上げ排出する。狭小・低空間での施工条件下で大口径掘削でも迅速・容易に施工することができる。



重機ヤード等を小規模に抑えることができるため、列車近接等の狭隙箇所で施工可能



施工記録には築堤石のような地中障害が出てきた記録はなし
 (築堤石程度の地中障害があった場合には、一般的には施工は難しく、掘削が出来ない可能性が高い)

①箇所: TBH工法



②箇所: TBH工法



⑥箇所: TBH工法

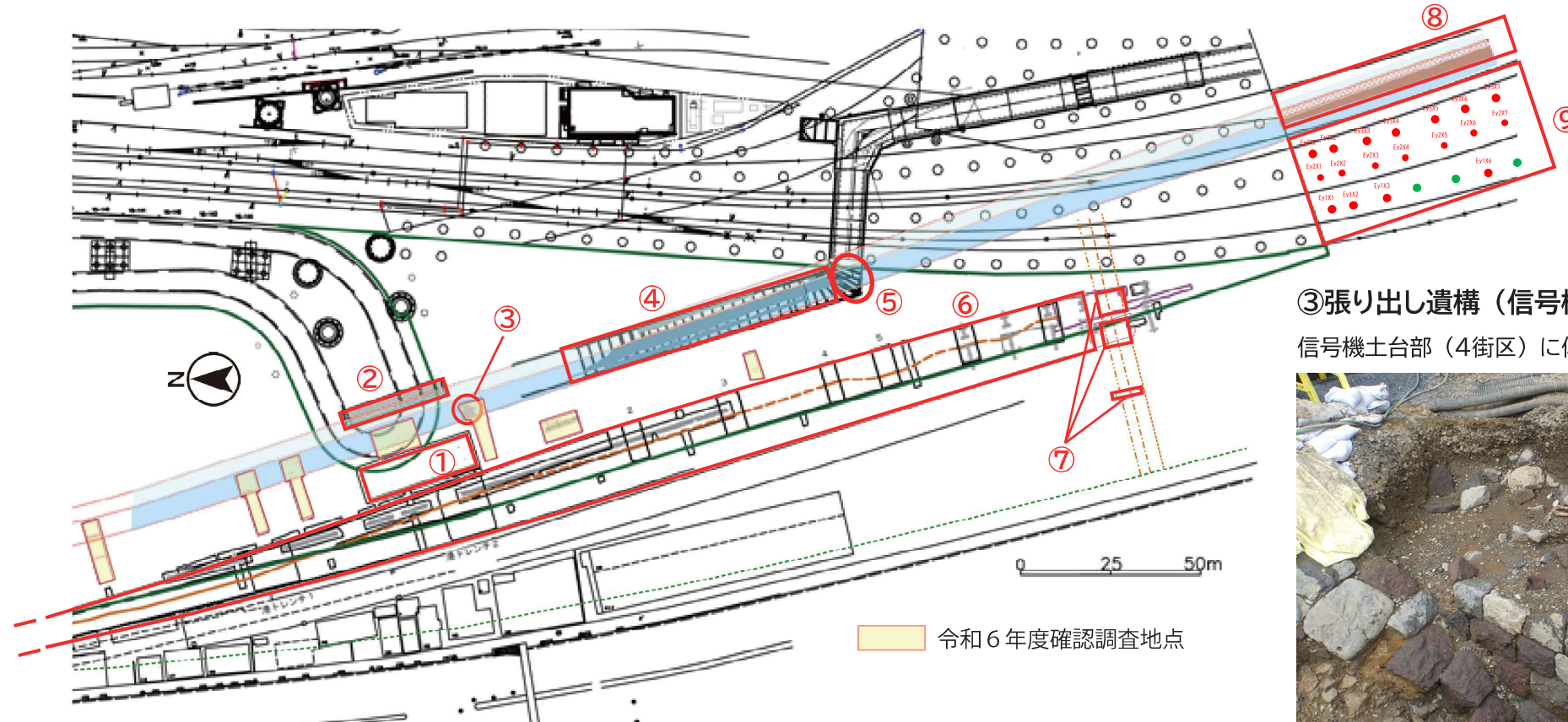


⑦箇所: TBH工法



6街区南部の調査成果について

2026.7.15 港区教育委員会事務局作成



①環状4号線（P10 橋脚部）

鐵道開業期（明治5年）の築堤本体の盛土と芯、芯に伴う土留め、複線化（明治9年）に伴う盛土を確認。



2022.1.24 撮影

②環状4号線（B2 ベント部）

海側石垣の東側に打たれた群杭を確認。



2021.9.17 撮影

③張り出し遺構（信号機土台部？）

信号機土台部（4街区）に似た張り出し遺構を確認。



2024.11.1撮影

④物流仮斜路部（上）+⑤物流地下通路部（下）

海側石垣下部（根石含め7～8段程度）、裏込め等を確認。



2021.4.21 撮影



2019.6.3撮影

⑥京急連立事業（1工区）

複線後（明治9年）の築堤盛土の裾、明治20年代以降の遺構（埋立土、井戸等）を確認。



2023.12.27 撮影

⑦京急連立事業（1工区）

第8橋梁北横仕切堤を確認。



2025.4.16 撮影

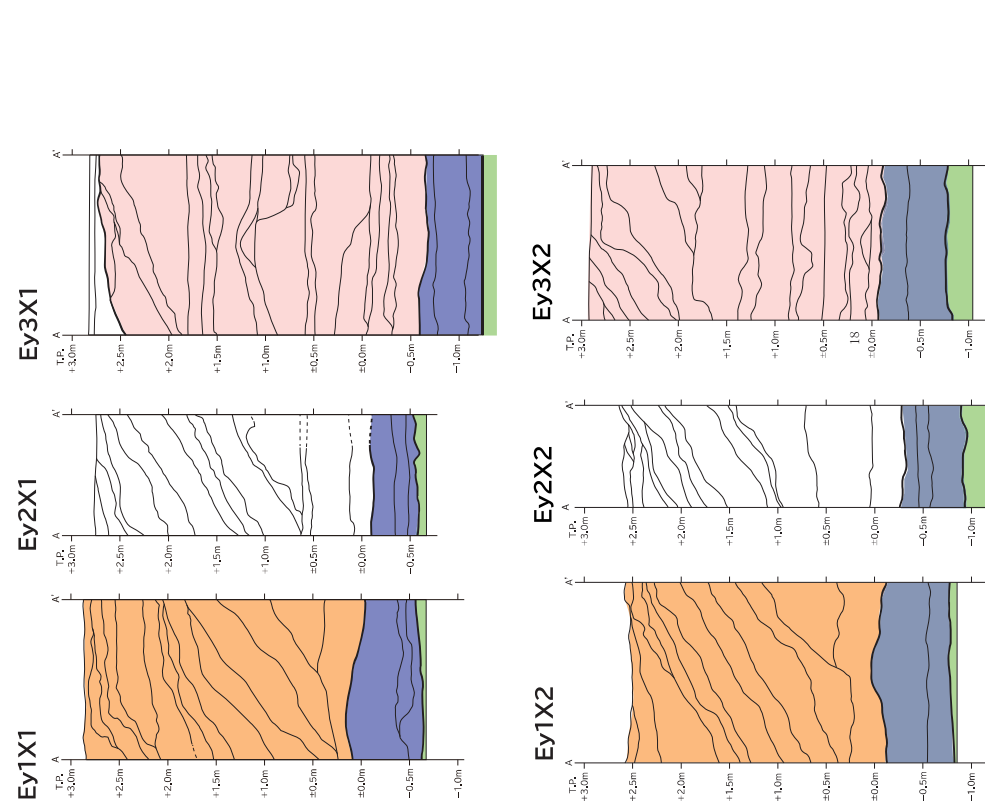
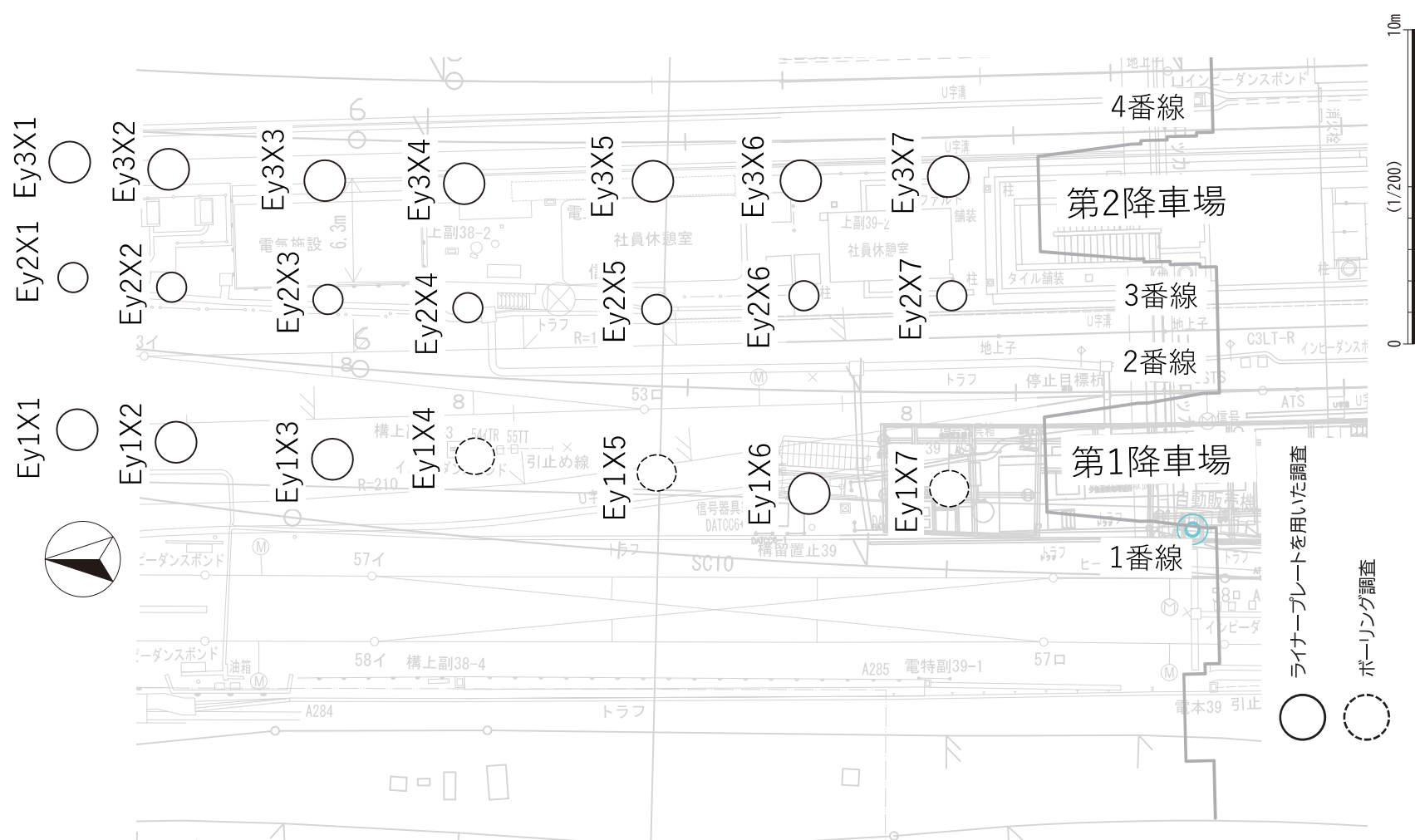
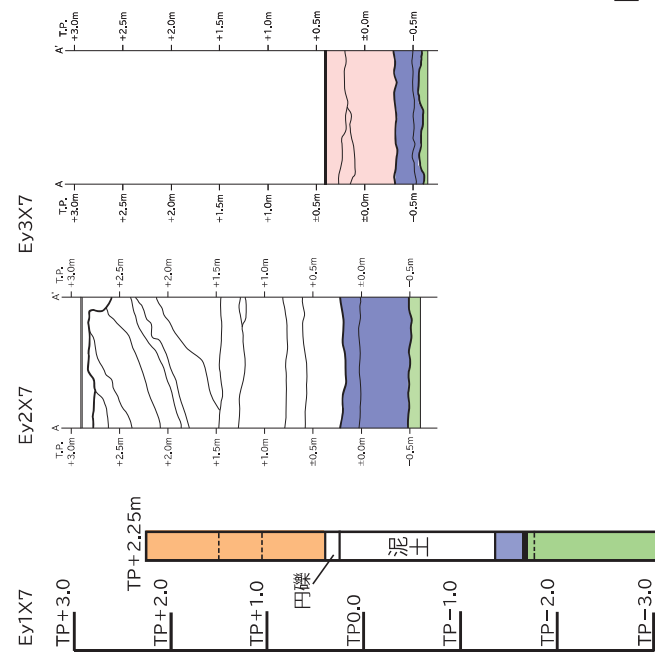
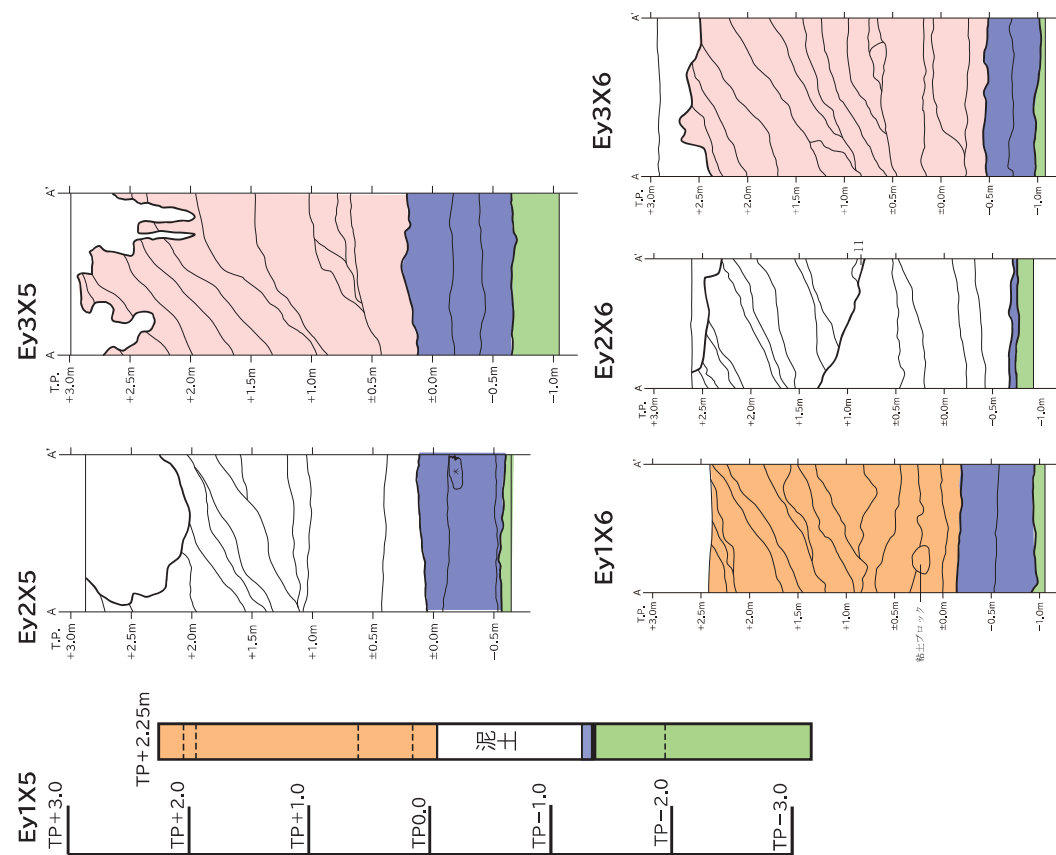
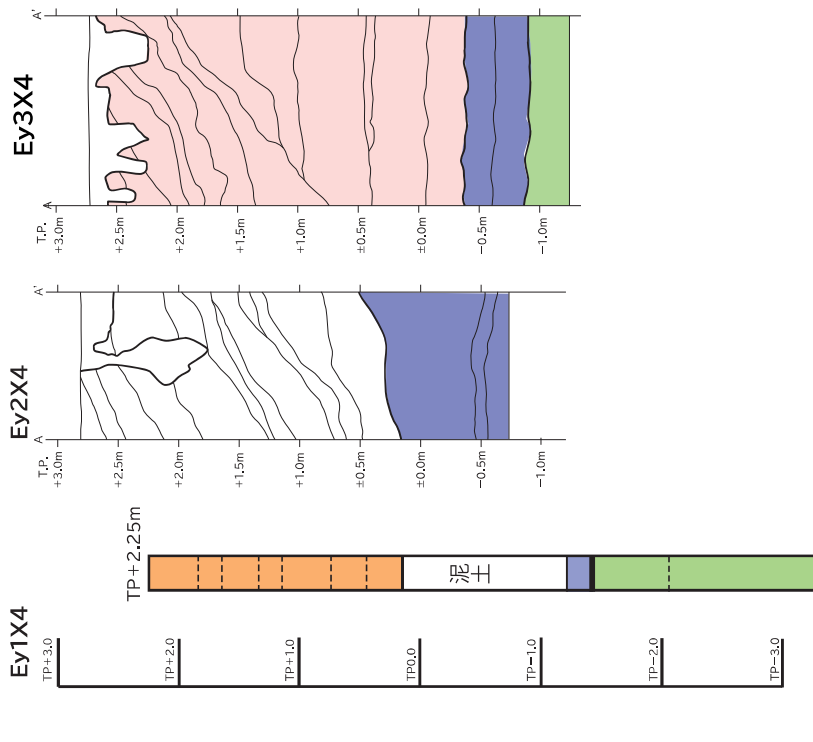
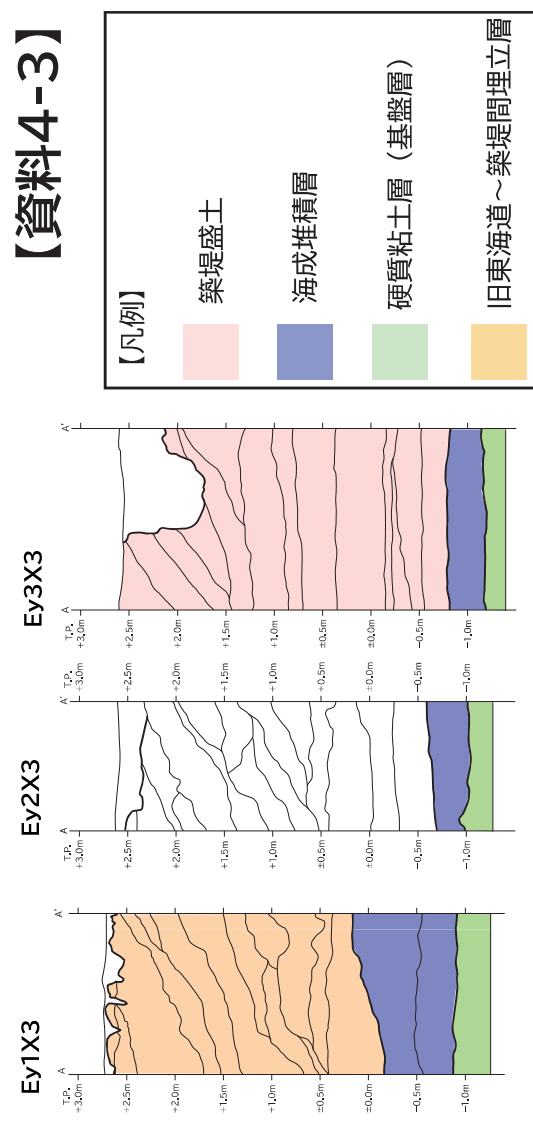
⑧物流荷捌き部

海側石垣の下端部、群杭列を確認。

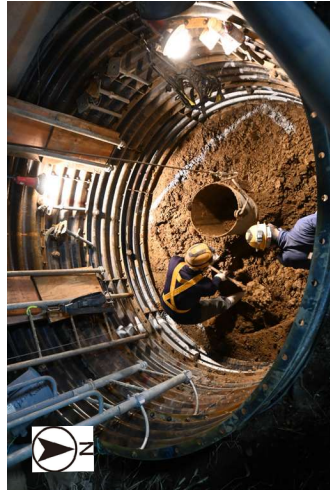


2021.3.15 撮影

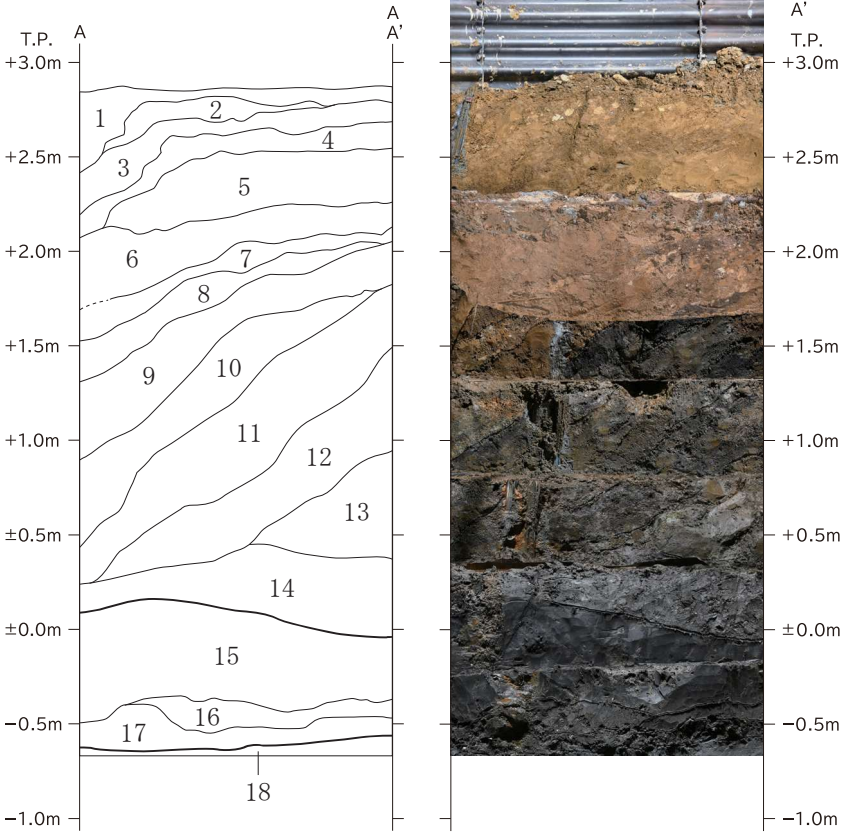
【資料4-3】



調査期間
令和5（2023）年2月2日～令和6（2024）年6月3日
※うち、91日間（Ey1X4、Ey1X5、Ey1X7を除く）

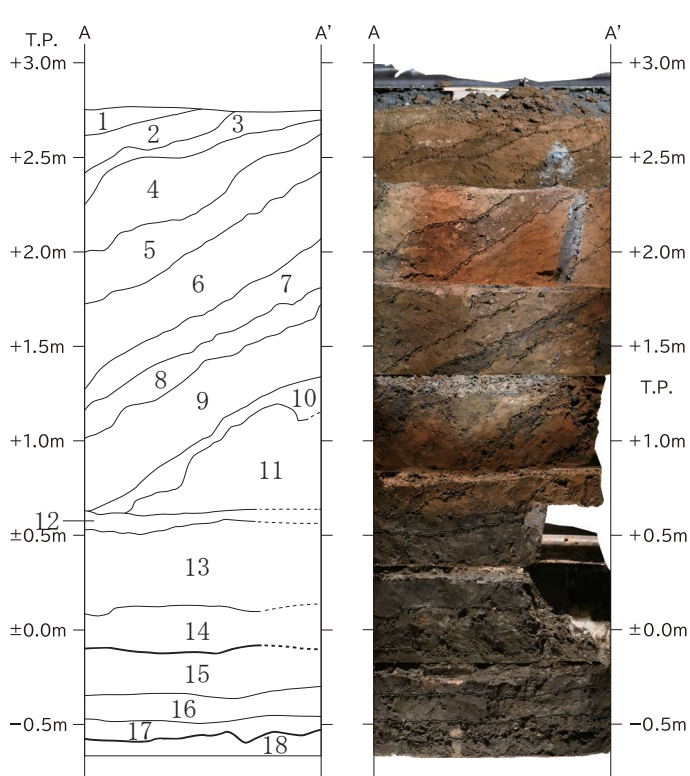


Ey1X1



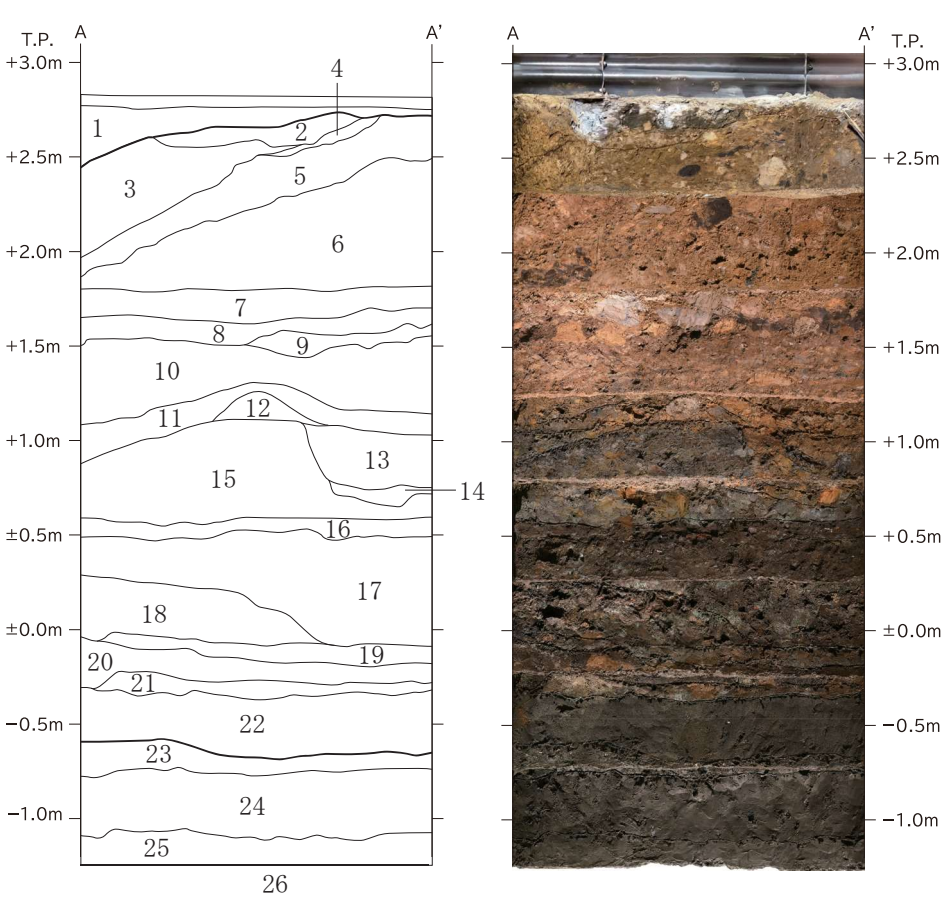
- | | |
|------------|--|
| 1 褐色土 | 1～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 2 褐色土 | 5～10cm灰色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 3 にぶい黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 5 灰黄褐色土 | 1～20cmのロームブロック、1～5cmの灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 6 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 黒褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 8 暗褐色粘質土 | 5～10cmの灰色粘土ブロック、白色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 9 褐灰色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 10 黄灰色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 11 暗灰黄色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 12 褐色粘質土 | 5～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 13 黒褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 灰色粘土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 16 灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 17 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 18 灰白色土 | 貝殻片を中量含む。硬質粘土層。 |

Ey2X1

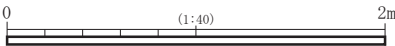


- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1 明褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 2 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 3 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 4 にぶい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 5 暗褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 6 にぶい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 7 橙色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 8 黒褐色土 | 5～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 9 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 10 黒褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 にぶい黄褐色土 | 1～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 12 灰オリーブ色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 13 灰黄褐色粘質土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 14 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 砂粒を多量含む。貝殻片を少量含む。 |
| 16 灰色粘土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 17 灰色粘質土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 18 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

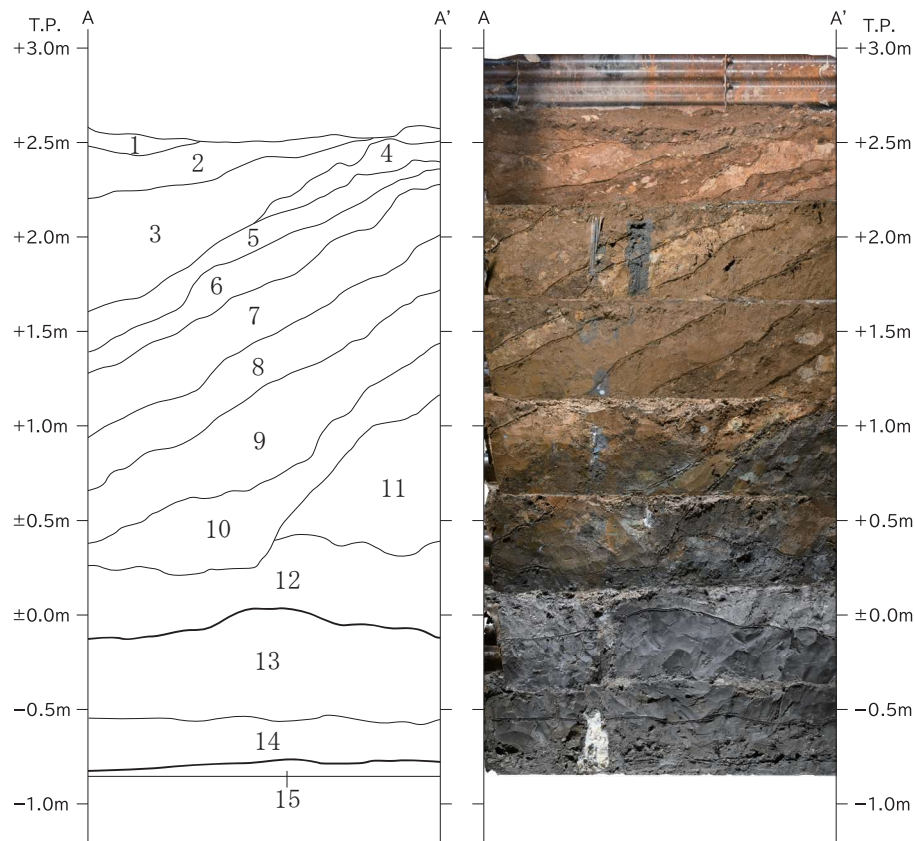
Ey3X1



- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| 1 褐灰色土 | 砂粒を多量に含む。現代の盛土。 |
| 2 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 3 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 褐色土 | 1～10cm灰色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 5 暗褐色土 | 1～10cmのロームブロック、黒色粘土ブロックを多量含む。 |
| 6 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 7 にぶい黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 8 にぶい黄橙色土 | 10～30cmの灰色粘土ブロック、1～5cmのロームブロックを多量含む。 |
| 9 黒褐色土 | 5～20cmの黒色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 10 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 明黄褐色土 | 1～20cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 12 暗褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 13 灰黄褐色粘質土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 14 灰褐色土 | 5～20cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 15 灰褐色土 | 10～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 16 黒褐色粘質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、10～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 17 黄灰色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 18 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 19 灰色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを中量含む。 |
| 20 灰オリーブ色粘土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 21 黒褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロックを少量含む。 |
| 22 オリーブ黒色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 23 暗灰色粘土 | 砂粒を多量含む。貝殻片を少量含む。 |
| 24 灰色粘土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 25 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 26 灰白色土 | 貝殻片を少量含む。硬質粘土層。 |

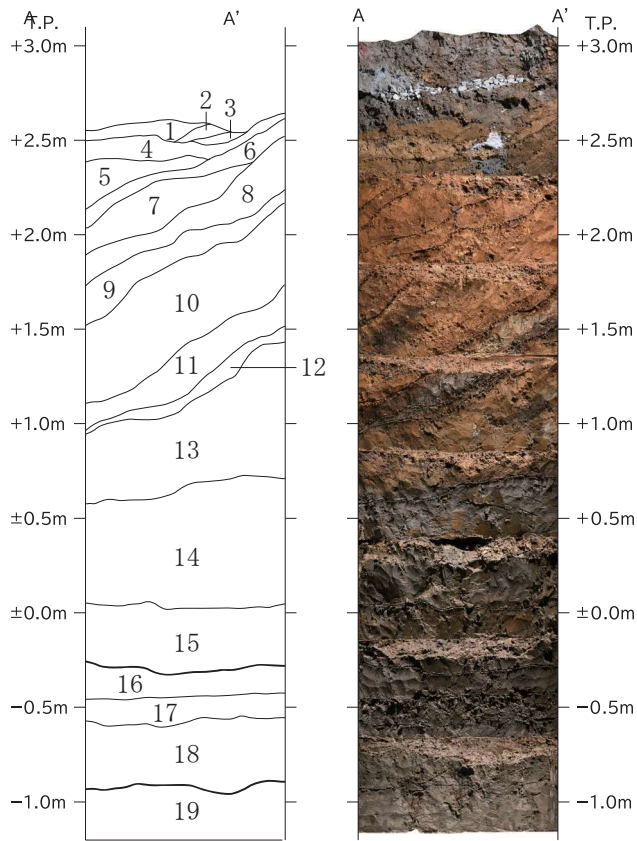


Ey1X2



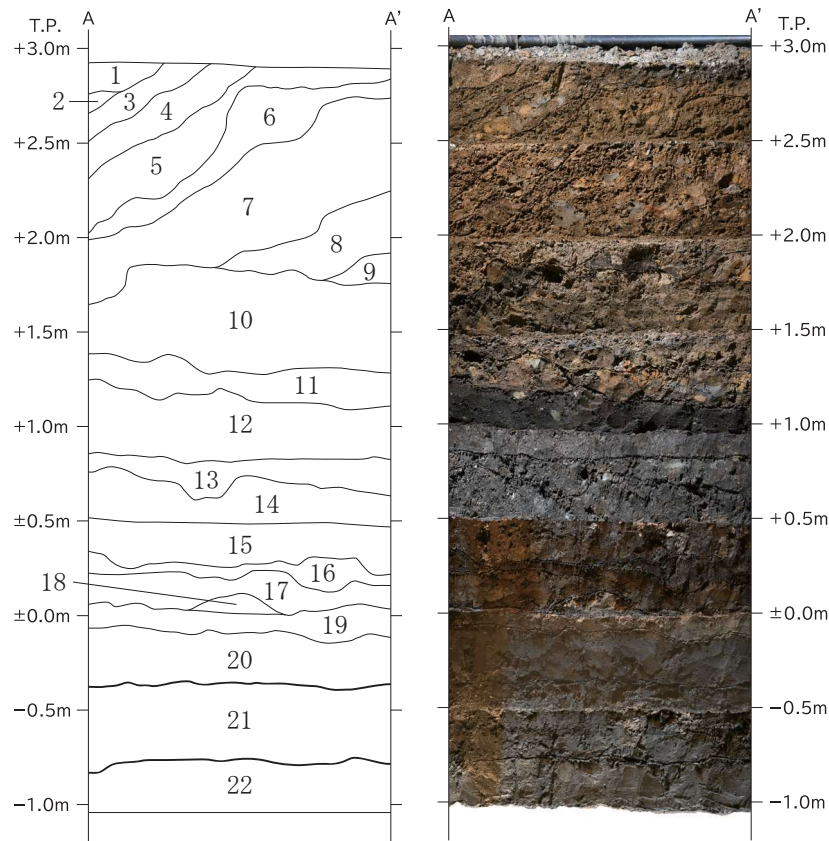
- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1 褐色土 | 1～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 2 にぶい黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 3 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 4 灰黄褐色土 | 1～20cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 暗褐色粘質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 6 褐灰色土 | 1～20cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 暗褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 8 褐灰色粘質土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 9 黄灰色粘質土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 10 黒褐色粘質土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 11 褐色粘質土 | 5～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 12 黒褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロック、1～5センチの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 13 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 14 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 15 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey2X2

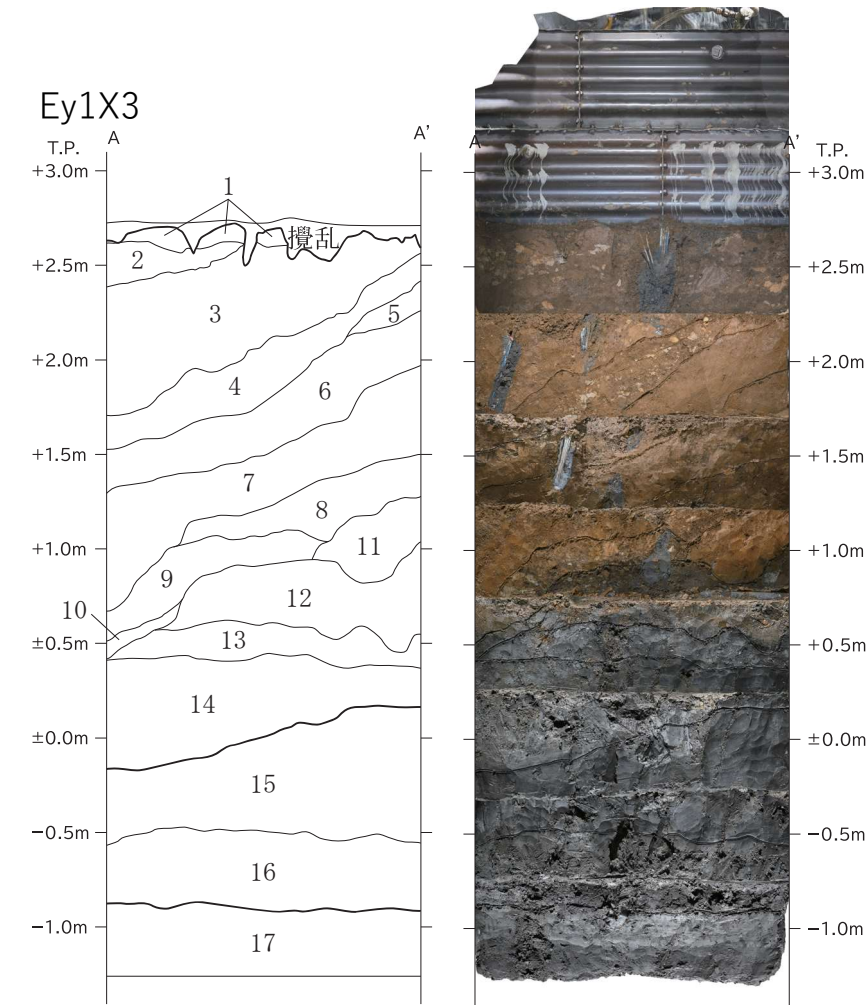


- | | |
|------------|------------------------------------|
| 1 褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 3 にぶい褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 4 灰黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 5 にぶい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 6 黒褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 7 にぶい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 8 橙色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 9 黒褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 10 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 11 黒褐色粘質土 | 5～10cmの灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 12 暗褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 13 にぶい褐色土 | 1～10cmの灰色ブロックを多量含む。 |
| 14 灰黄褐色粘質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 15 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 16 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 17 灰色粘土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、貝殻片を多量含む。 |
| 18 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 19 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

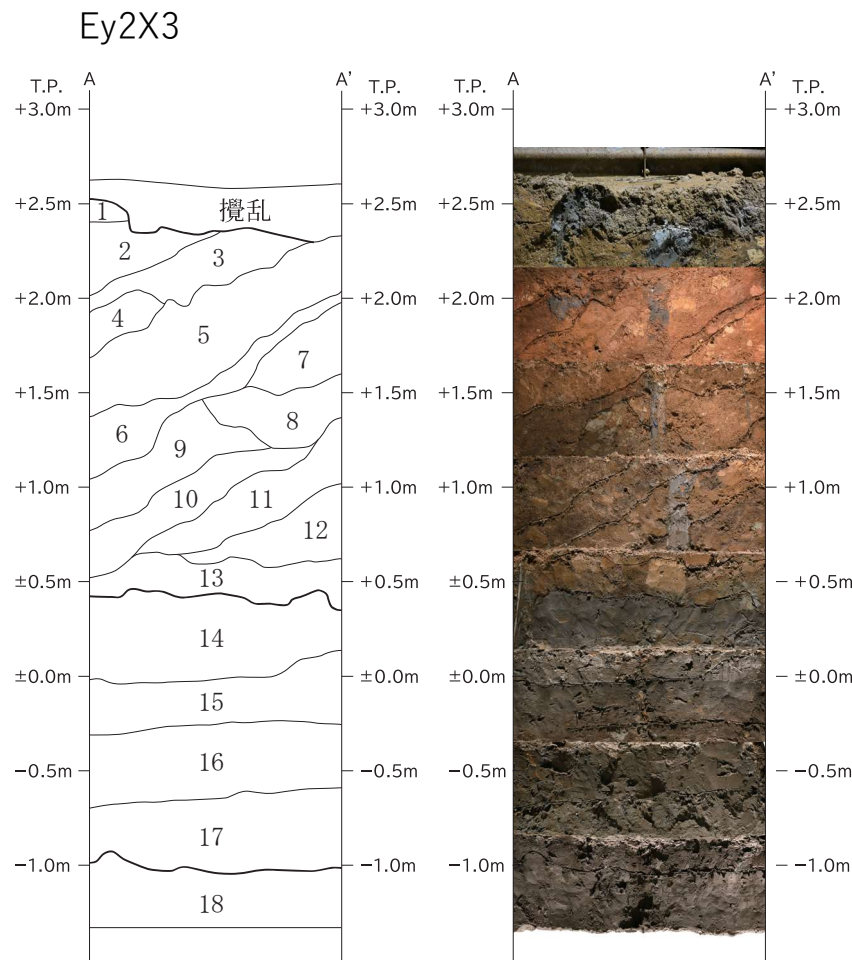
Ey3X2



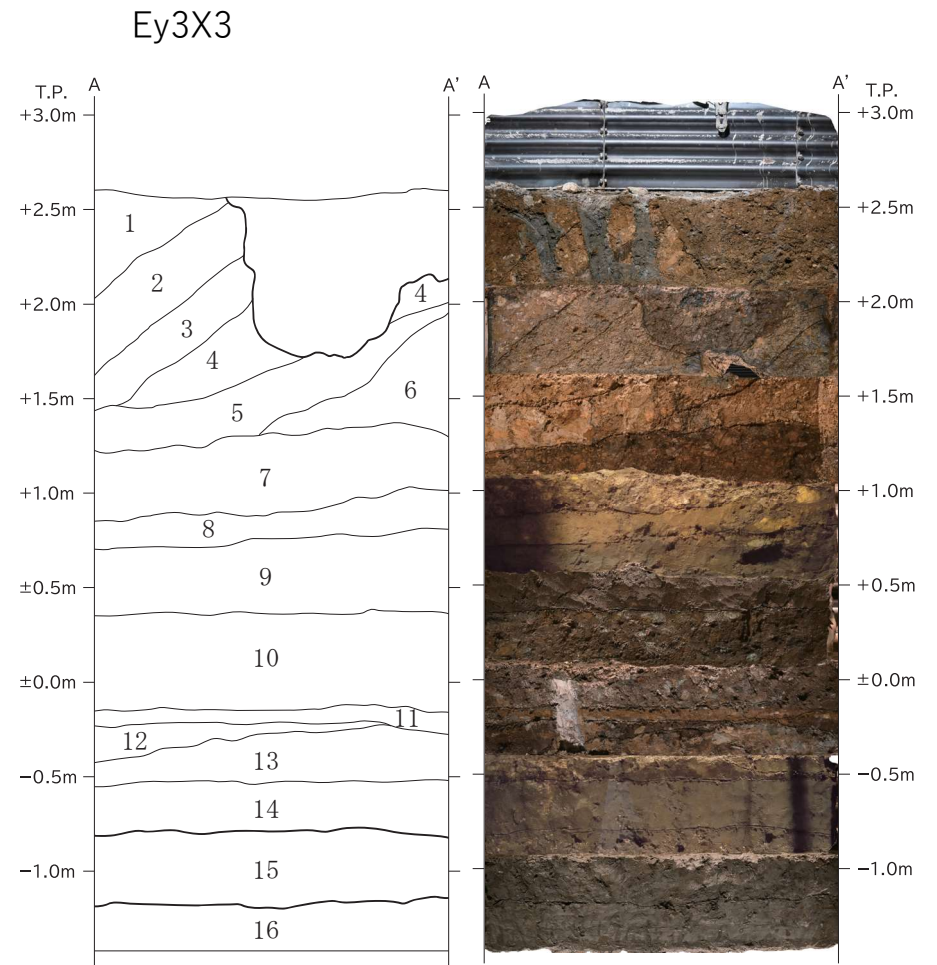
- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 1 にぶい黄褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 2 明黄褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 3 褐色土 | 1～5cmのロームブロックを中量含む。 |
| 4 暗褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 5 暗褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 6 明黄褐色土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 7 にぶい黄褐色土 | 5～20cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 8 暗褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 9 黒褐色土 | 5～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 10 明黄褐色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 11 明黄褐色土 | 5～20cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 12 黒褐色砂質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 13 黒褐色粘質土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 灰褐色粘質土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 15 黒褐色粘質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 16 黄灰色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 17 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 18 黒褐色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 19 灰オリーブ色粘土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 20 灰色粘土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 21 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 22 灰白色土 | 硬質粘土層。 |



- | | | |
|----|---------|--|
| 1 | 褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 2 | にぶい黄褐色土 | 5～10cm白色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 3 | 明黄褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、1～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 4 | 灰黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、5～20cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 | にぶい黄褐色土 | 1～10cm白色粘土ブロック、灰色粘土を多量含む。 |
| 6 | 褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 7 | にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量、1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 8 | 褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、1～10cmロームブロックを中量含む。 |
| 9 | 暗褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 10 | 暗灰黄色粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 11 | にぶい褐色土 | 10～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 12 | 黒褐色粘質土 | 1～10cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 13 | 灰色粘土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 | 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 15 | 灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 16 | 灰色粘質土 | 貝殻片を中量含む。 |
| 17 | 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

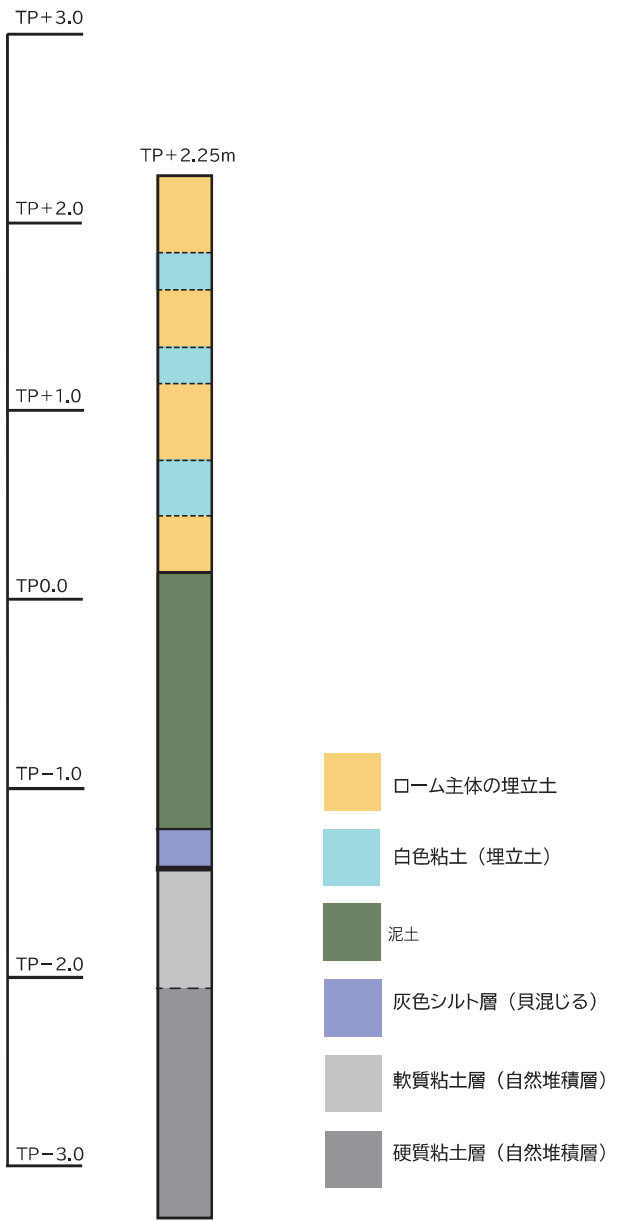


- | | | |
|----|---------|--|
| 1 | 明褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 | にぶい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 3 | 明黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 4 | 暗褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。 |
| 5 | 黄褐色土 | 10～30cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 6 | 暗褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 7 | 橙色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 8 | 黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロック少量含む。 |
| 9 | にぶい褐色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 10 | 灰黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 11 | 褐色土 | 10～20cmのロームブロックを中量含む。 |
| 12 | にぶい褐色土 | 5～20cmの白色粘土ブロックを少量、10～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 13 | 灰黄褐色粘質土 | 10～30cmのロームブロックを多量含む。 |
| 14 | 黒褐色砂質土 | 1～5cmのロームブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 15 | 暗灰色粘土 | 1～5cmのロームブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 16 | 灰色粘土 | 1～5cmのロームブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 17 | 灰色粘質土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 18 | 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

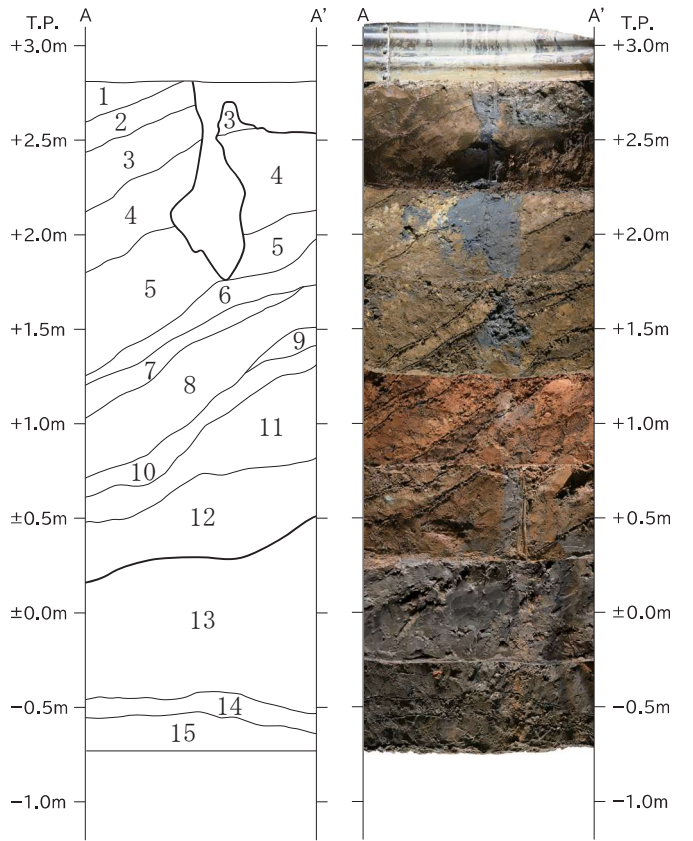


- | | | |
|----|---------|--|
| 1 | 褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 2 | にぶい黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 3 | 明黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 | にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 | 黄褐色土 | 10～30cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 6 | にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 | 黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 8 | にぶい褐色土 | 1～20cmのロームブロックを少量含む。 |
| 9 | 褐色土 | 5～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 10 | 暗褐色砂質土 | 10～30cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 | 褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 12 | 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 13 | 黄灰色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 | 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 15 | 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 16 | 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey1X4

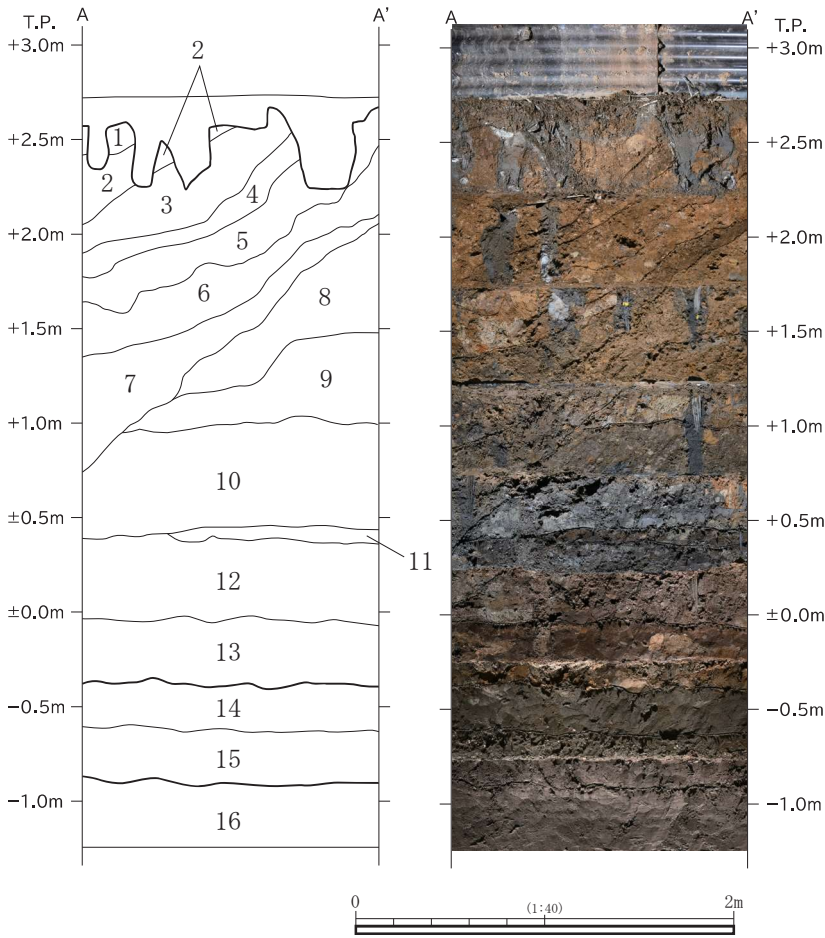


Ey2X4



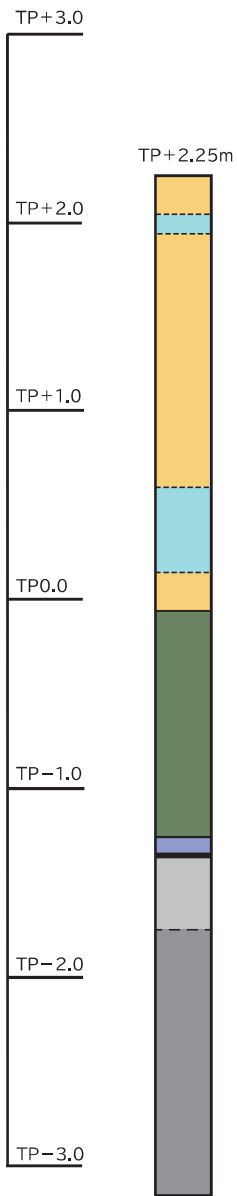
- 1 明褐色土 1～5cmのロームブロック、白色粘土ブロックを少量含む。
2 にぶい褐色土 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。
3 明黄褐色土 1～5cmのロームブロックを中量含む。
4 暗褐色土 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。
5 黄褐色土 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。
6 暗褐色土 1～10cmの白色粘土ブロックを多量含む。
7 橙色土 1～5cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを少量含む。
8 黄褐色土 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロック多量含む。
9 暗褐色土 1～10cmのロームブロックを多量含む。
10 灰黄褐色土 1～10cmのロームブロックを多量含む。
11 褐色土 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。
12 暗褐色土 5～20cmのロームブロックを多量含む。
13 灰黄褐色粘質土 貝殻片を少量含む。
14 黒褐色砂質土 砂利、貝殻片を少量含む。
15 暗灰色粘土 貝殻片を多量含む。

Ey3X4



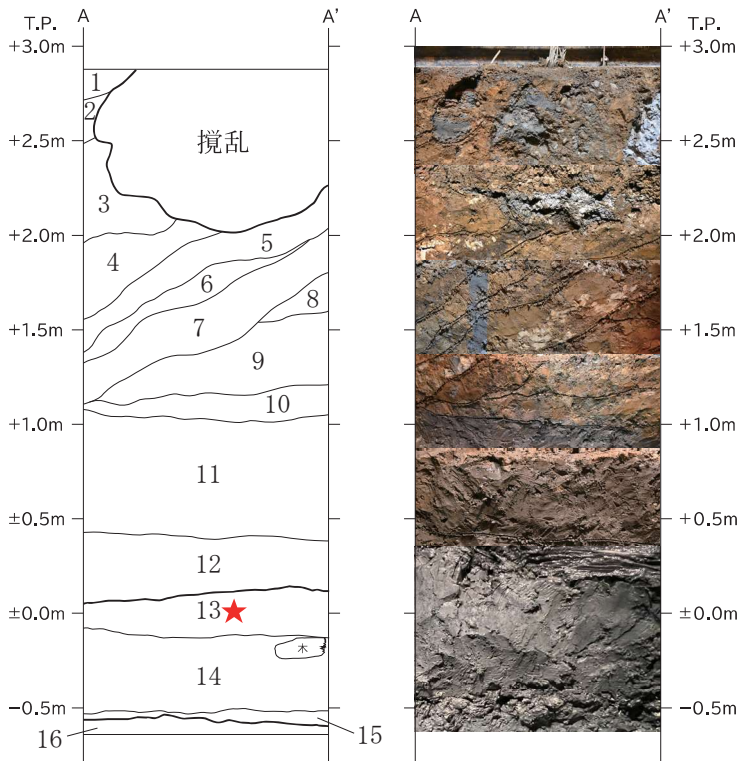
- 1 褐色土 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。
2 にぶい黄褐色土 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。
3 明黄褐色土 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。
4 にぶい褐色土 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。
5 黄褐色土 10～30cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。
6 褐色土 1～10cmのロームブロックを多量含む。
7 黄褐色土 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを中量含む。
8 にぶい褐色土 1～20cmのロームブロックを少量含む。
9 褐色土 5～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。
10 暗褐色砂質土 1～20cmのロームブロックを多量含む。
11 褐色粘質土 5～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。
12 黒褐色粘質土 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。
13 黄灰色粘質土 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。
14 黒褐色粘質土 貝殻片を少量含む。
15 灰色粘質土 貝殻片を少量含む。
16 灰白色土 硬質粘土層。

Ey1X5



- ローム主体の埋立土
- 白色粘土（埋立土）
- 泥土
- 灰色シルト層（貝混じる）
- 軟質粘土層（自然堆積層）
- 硬質粘土層（自然堆積層）

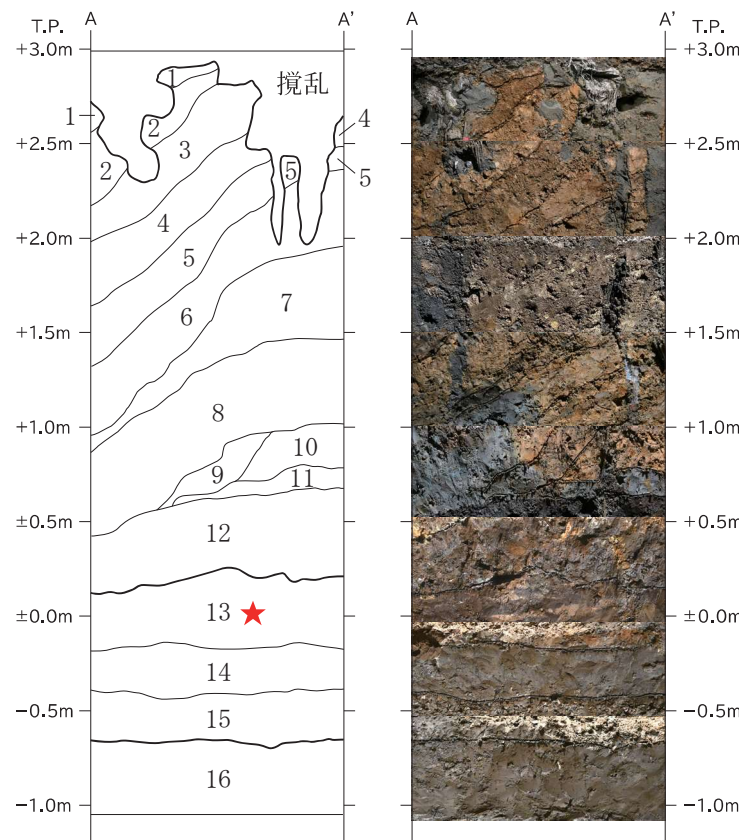
Ey2X5



※★は遺物が出土した層
（出土位置ではない）

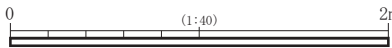
- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 明褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 にがい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 3 明黄褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 4 暗褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 5 黄褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 6 暗褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 橙色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 8 黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロック中量含む。 |
| 9 暗褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 10 灰黄褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 褐色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 12 灰黄褐色土 | 5～20cmの粘土ブロックを多量含む。 |
| 13 黒褐色粘質土 | 砂利、貝殻片を少量含む。 |
| 14 黒色粘質土 | 砂利、貝殻片を少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 16 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey3X5

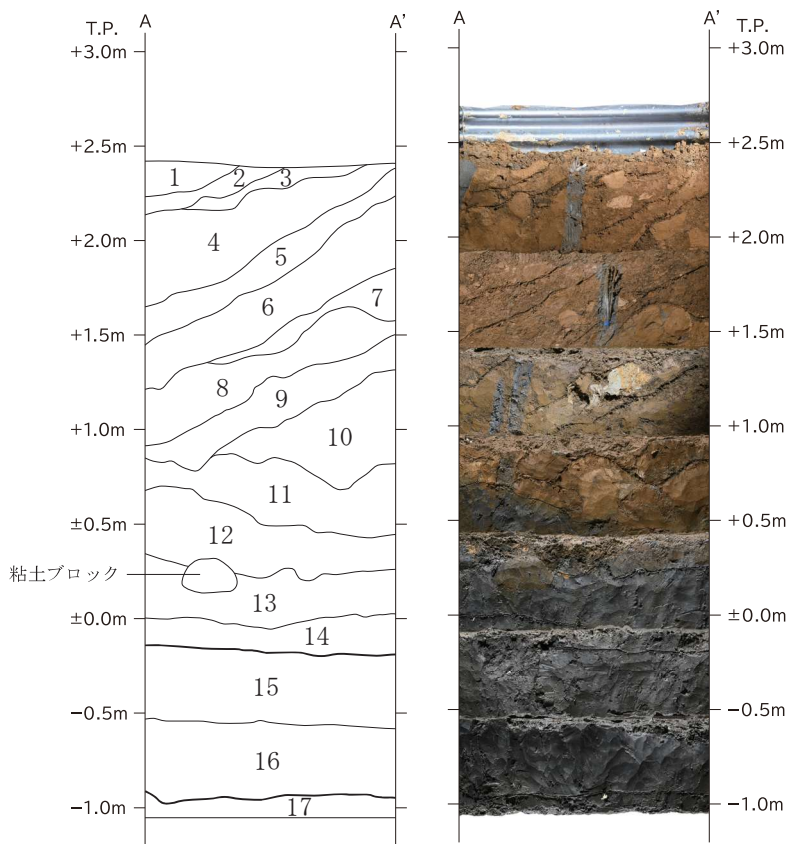


※★は遺物が出土した層
（出土位置ではない）

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 暗褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 にがい褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 3 明黄褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 4 暗褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 5 黄褐色土 | 1～5cmの灰色粘土ブロック、ロームブロックを中量含む。 |
| 6 暗褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 橙色土 | 1～20cmの白色粘土ブロック、ロームブロックを多量含む。 |
| 8 黄褐色土 | 1～10cmの白色粘土ブロック、ロームブロック中量含む。 |
| 9 暗褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 10 灰黄褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 12 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 13 灰黄褐色土 | 砂利、貝殻片を少量含む。 |
| 14 黒色粘質土 | 砂利、貝殻片を少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 16 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

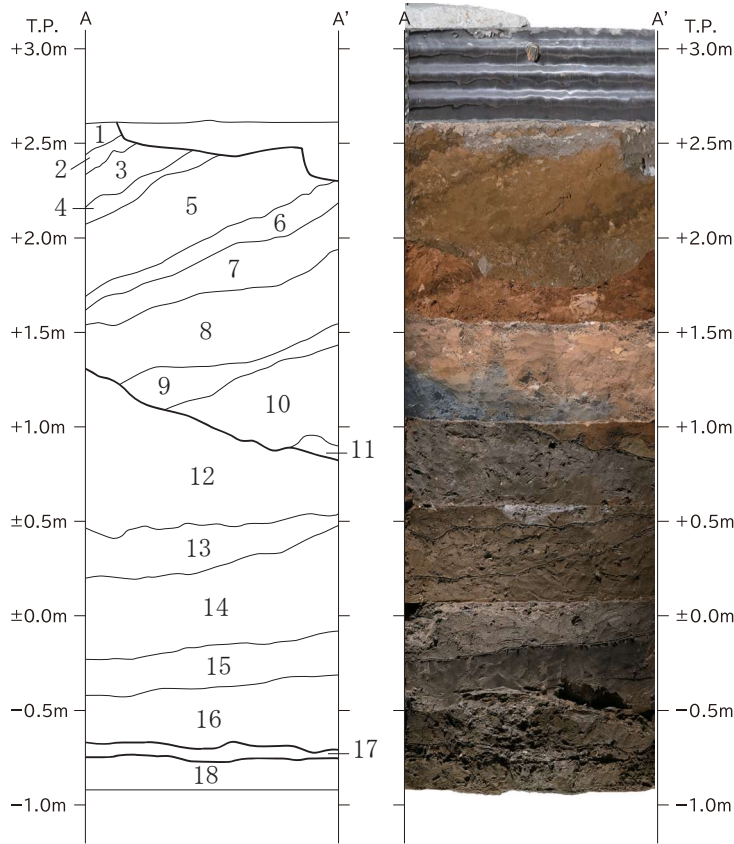


Ey1X6



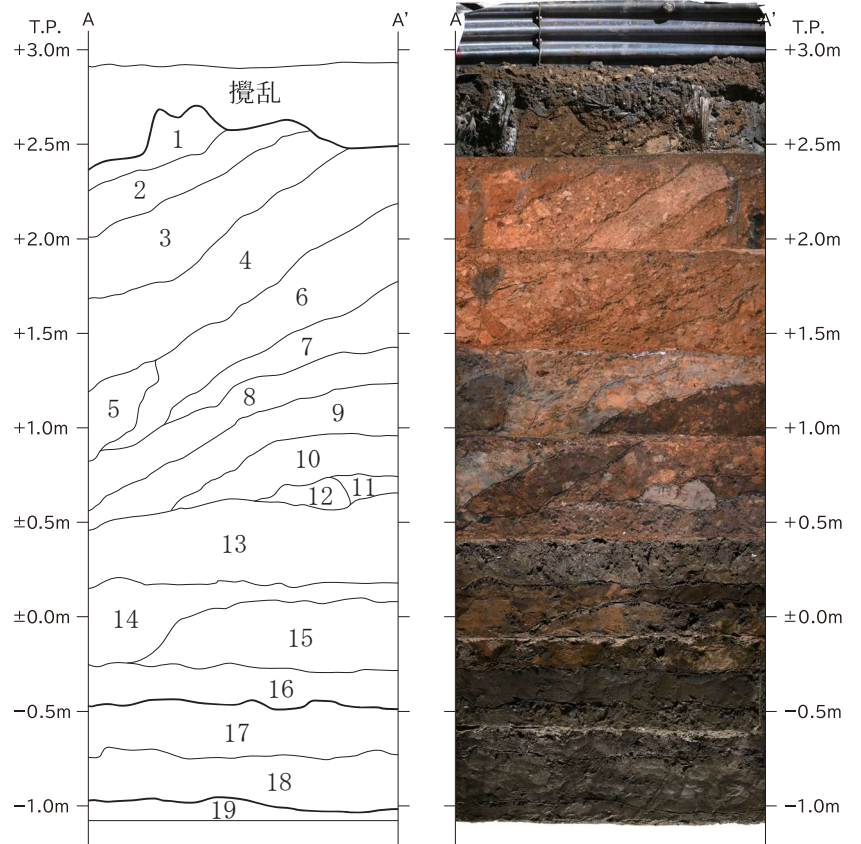
- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 1 明黄褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 2 にぶい黄褐色土 | 5～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 3 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 黄褐色土 | 1～20cmのロームブロック、10～20cm白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、1～5cmの灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 6 にぶい黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 黄褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 8 暗褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 9 灰黄褐色粘質土 | 1～20cmのロームブロック、10～20cmの白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 10 褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 11 暗褐色土 | 10～30cmのロームブロックを多量含む。 |
| 12 褐色粘質土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 13 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 灰色粘土 | 1～5cmの白色粘土ブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 16 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 17 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey2X6



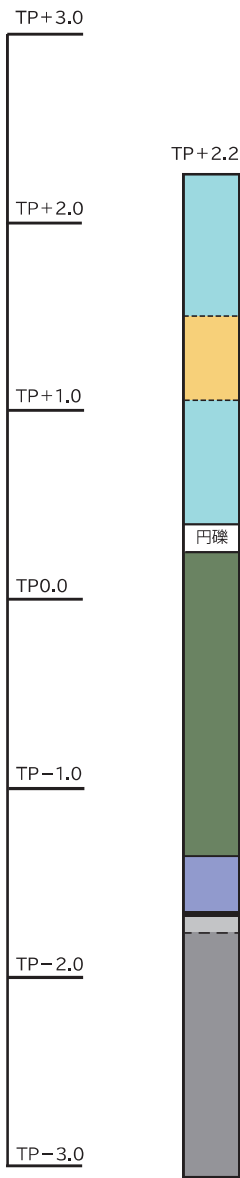
- | | |
|--------------|--|
| 1 明褐色土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 2 にぶい褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 3 明黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを中量含む。 |
| 6 暗褐色土 | 1～20cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 橙色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 8 黄褐色土 | 5～20cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 9 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 10 灰黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 11 暗灰黄粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 12 灰オリーブ色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 13 灰黄褐色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 黒褐色砂質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 15 暗灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 16 灰色粘土 | 1～5cmのロームブロック、白色粘土ブロック、貝殻片を少量含む。 |
| 17 灰色粘質土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 18 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey3X6

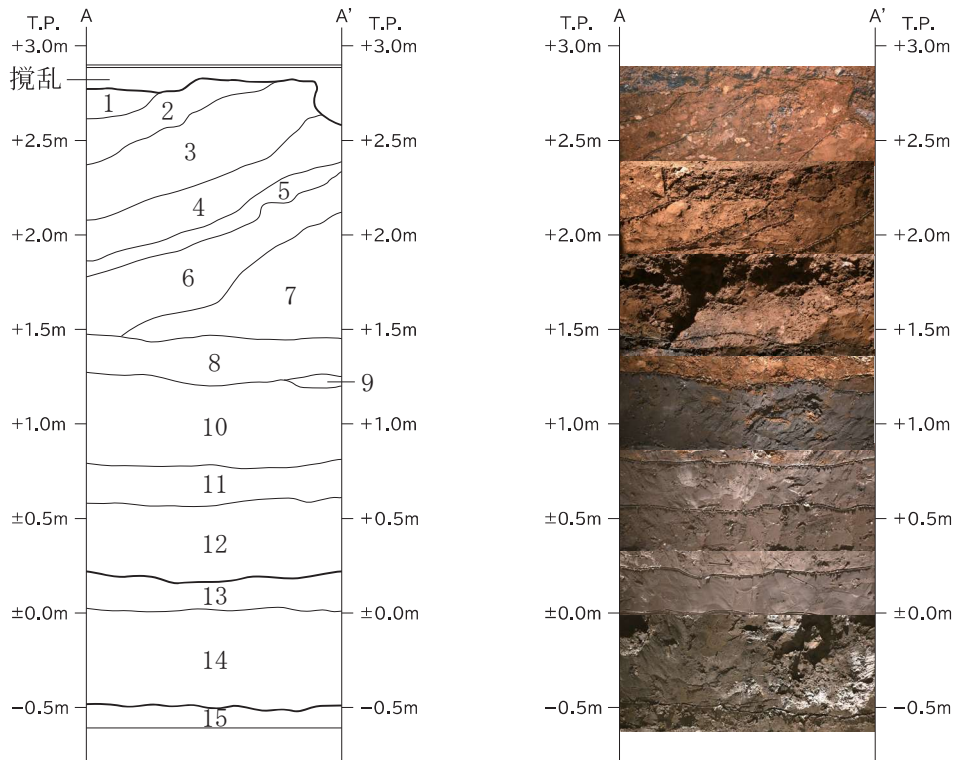


- | | |
|--------------|--|
| 1 にぶい黄褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 2 明黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 3 褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 4 にぶい黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 5 黒褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 6 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 7 明黄褐色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 8 暗褐色土 | 1～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 9 黒褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量、1～5cmの灰色粘土ブロックを少量含む。 |
| 10 褐色土 | 5～20cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 11 暗褐色粘質土 | 5～20cmのロームブロックを多量含む。 |
| 12 灰オリーブ色粘質土 | |
| 13 黄灰色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 14 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロック、1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 15 灰オリーブ色粘土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 16 オリーブ黒色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 17 灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 18 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 19 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey1X7

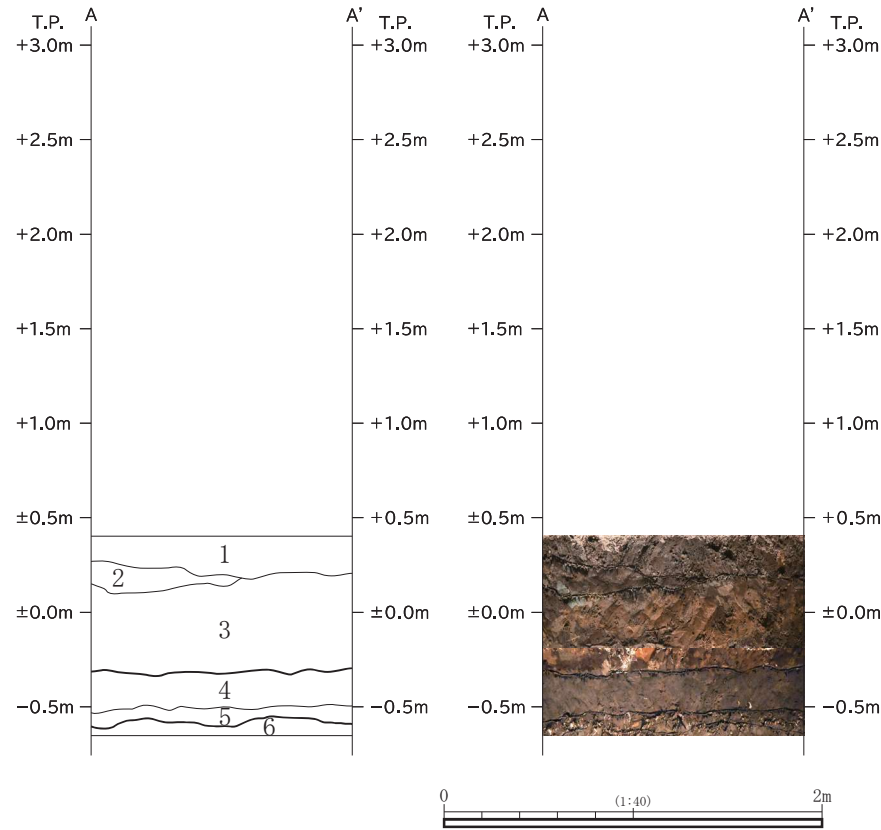


Ey2X7



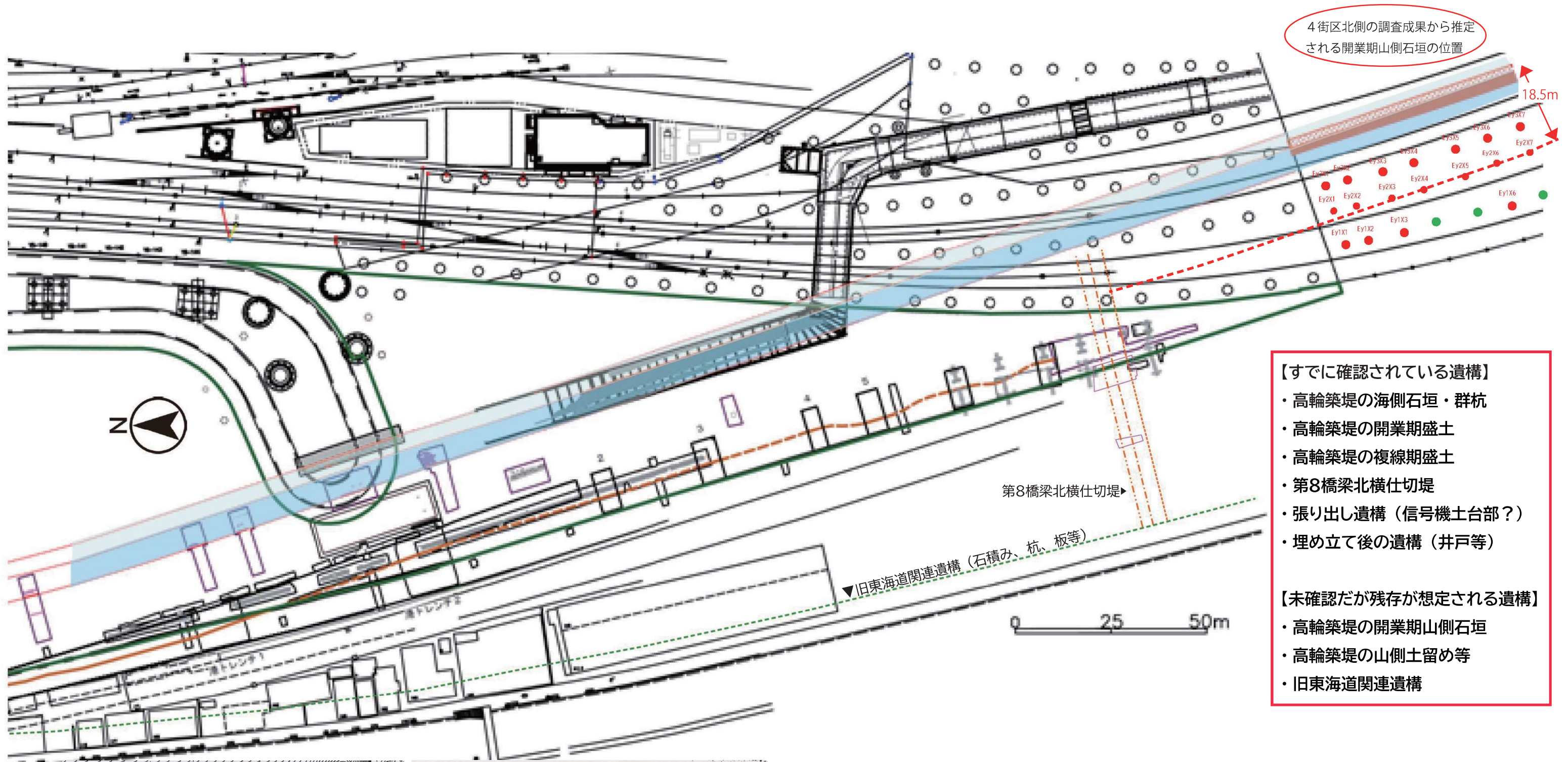
- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1 明褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 にぶい褐色土 | 1～5cmのロームブロック、白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 3 明黄褐色土 | 1～5cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを中量含む。 |
| 4 にぶい褐色土 | 1～10cmのロームブロックを多量含む。 |
| 5 黄褐色土 | 1～10cmのロームブロックを中量含む。 |
| 6 暗褐色土 | 1～20cmのロームブロックを少量含む。 |
| 7 橙色土 | 1～10cmのロームブロック、灰色粘土ブロックを多量含む。 |
| 8 黄褐色土 | 5～10cmのロームブロック、白色粘土ブロックを多量含む。 |
| 9 にぶい褐色土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 10 灰黄褐色土 | 1～5cmのロームブロックを中量含む。 |
| 11 暗灰黄粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 12 灰オリーブ色粘質土 | 1～5cmの白色粘土ブロックを少量含む。 |
| 13 灰黄褐色粘質土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 14 灰色粘質土 | 貝殻片を多量含む。 |
| 15 灰白色土 | 硬質粘土層。 |

Ey3X7



※上部はコンクリート基礎により失われている

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 黒褐色粘質土 | 1～5cmのロームブロックを少量含む。 |
| 2 灰オリーブ色粘土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 3 オリーブ黒色粘質土 | 1～10cmのロームブロックを少量含む。 |
| 4 灰色粘土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 5 灰色粘質土 | 貝殻片を少量含む。 |
| 6 灰白色土 | 硬質粘土層。 |



【すでに確認されている遺構】

- ・高輪築堤の海側石垣・群杭
- ・高輪築堤の開業期盛土
- ・高輪築堤の複線期盛土
- ・第8橋梁北横仕切堤
- ・張り出し遺構（信号機土台部？）
- ・埋め立て後の遺構（井戸等）

【未確認だが残存が想定される遺構】

- ・高輪築堤の開業期山側石垣
- ・高輪築堤の山側土留め等
- ・旧東海道関連遺構

